

13

定縣ニ於ケル農村經濟調查報告書

大東公司 調查課

A - 4

4 5 6 7 8 9 340 1 2 3 4 5 6 7 8 9 350 1 2 3 4 5 6 7 8 9 360 1 2 3 4 5

本調査報告書ハ多々不備ノ點ハアルカ、不取敢定縣丈ヲ整理シ以テ印刷ニ附スル事ニシタ。農村ノ事情研究ニツイテ多少ニテモ參考ニナリ得レハ幸甚テアル。

昭和十年五月廿五日

徳 武 三 朗

扉ニ題ス。

定縣ハ山東ノ鄒平、及江蘇ノ無錫ト共ニ中國ニ於ケル民教事業實驗ノ三大中心ト稱セラレテキル。

ソノ實驗ノ主持機關テアル平民教育促進會全國總會ノ存在ニヨツテ恰モ農村研究ノ靈場テアルカノヤウニ喧傳セラレ一度コノ地ヲ參觀シテハ農村ヲ論スルコトハ出來ヌモノト信シテキルカノヤウニ他テハ縣キ立テテキルカ、定縣ニ籠ツタ學究達ハ案外冷靜ナ態度ヲ以テソノ研究ヲツツケテキルノデア

各地カラ定縣參觀團トシテ來ルモノ毎日相當數ニホリ驛頭ハ某々參觀團云々ノ小旗ヲ手ニシタ、輕卒ナ態度、ケバケバシイ服裝シタ男女ノ一行ツ多ク送迎シツツアルカ、アレカ破産ニ瀕シテキル農村ノ更生ヲ計リ、老百姓ノ困キ相談相手トナラントスル者ノ一行ヲト思フトキ多大ノ疑問ヲ拘ラセラルル農村ヲ見、農村ヲ語リソシテ實地ニ土ニ親シムヘキモノカアノケバケバシイ服裝ヲシ、アノ輕卒ナ態度テ定縣ニ一瞥ヲ與ヘルノミテ水平線下ニ蠢動スル老百姓ノ眞ノ生活ヲ見ス。農村ノ實情ヲ見ントハシナイノデアアルカヲ統ニ問

題外テアル。

此度農村經濟調査ノ第一着手トシテ特ニ定縣ヲ選ヒ、滞在僅ニ十三日間テハアツタカ、ソノ間出來ル限リ地方ヲ歩キ、老百姓ト語り老百姓ト共ニ食ヒソシテ又畑ニモ共ニ出テ見ルヤウニツトメテ來タ。

日出而作。式ニ毎日動物ノヤウニ働イテモ尙ホ余裕ナトハ感テ漸ク最底ノ只口ヲ糊スル丈ト云フ生活ニ甘ンシナケレハナラナイ彼等老百姓ノ生活ヲ見テハコレテモ人間ノ生活カト疑ハセラルルノテアル。ソシテ參觀團ヲミル毎ニ。

昨日城廓ニ到ル。

歸來涙巾ニ滿ツ

全身綺羅ノ人。

コレをヲ養フ人ナラス

ノ嘆ヲ今更ニ深クシタ。

定縣出立後、望都ニ二泊、保定六泊滞在ソレヨリ乘舍自動車ヲ高陽ニ出テ任邱、大城ヲ經テ唐官屯ニ出テ同地ヨリ津浦線ニテ歸津シタコノ間二六日テアル。

本調査報告書ハ多ク不備ノ點ハアルカ、不取敢定縣丈ヲ整理シ以テ印刷ニ附スルコトニシタ。農村ノ事情研究ニツイテ多少ニテモ參考ニナリ得レハ幸甚テアル。

終ニ本調査旅行ニアタリ平教會各位ノ示サレタル厚情ヲ深謝スル。

凡 例

- (一) 本文中支里トアルハ十支里ヲ以テ一邦里ニ相當スルモノテ、普通日本テハ六支里ヲ以テ一邦里トシテキルカ地方ノ風習ニヨツテ一八〇複歩ヲ以テ一支里トナスアリ、二四〇複歩、三六〇複歩ヲ以テスル處アルナトマテマテナモノテアルカ實測ニヨレハ十支里ヲ以テ一邦里トスルノカ妥當テアル。十支里ノ里程ヲ實測スレハ大体三一七ニ一ニ、二四六複歩テアル。私ノ歩數ハ十余年來一キロ五八六複歩一邦里ニ三四四複歩ト一定シテキル。
- (二) 穀子ハ一般ニ小米ト稱シ別ニ粟トモ云フ。
- (三) 玉米ハ玉蜀黍、白薯ハ甘薯テアル。

定縣ニ於ケル農村經濟調査報告書 目次

- 一 定縣ノ位置、地勢及人口
- 二 定縣ノ沿革
- 三 村落ノ分布狀況
- 四 耕地面積
- 五 土地分布ノ狀況
- 六 第一區七一ヶ村ノ土地分布狀況
- 七 農耕ノ方法
- 八 農民ノ狀況
- 九 租田ノ手續方法
- 十 每畝ノ地價及地代
- 十一 地代收納ノ時期
- 十二 農産ノ納租時期ト農産分租法及年限
- 十三 地主ト佃農トノ關係
- 十四 雇農(農工)ノ狀況

- 十五 農民ノ生活狀況
 - (イ) 家庭組織ト房屋
 - (ロ) 農家ノ收入及生活費ノ支出概況
 - (ハ) 食料ノ研究
 - (ニ) 衣服費ト雜費
 - (ホ) 農民ノ娛樂
 - (ヘ) 農民ノ教育狀況
- 十六 家畜及肥料
- 十七 農民ノ副業
- 十八 税金ニツイテ
- 十九 農作物ノ概況
- 二十 農民移動ノ原因
- 二十一 出稼移民ノ流出狀況
- 二十二 交通狀況

- 二十三 灌溉ノ狀況
- 二十四 治安狀況
- 二十五 農村ニ於ケル銀行ノ活躍狀況
- 二十六 平教會ニツイテ
- 二十七 農村合作社ニツイテ
- 二十八 結語

以上

定縣ノ位置、地勢及人口

定縣ハ河北省ノ西部、北平ヲ距ル西南約五十邦里、河南ノ鄭州ヲ距ル北ニ二〇邦里、清苑（保定）ト石家莊ノ間ニ在リ平漢鐵路ハ縣内西北部ヲ通過シテキル。而シテ定縣ハ七縣ニ境ヲ接シテキル。即チ東ハ安國縣ト接シ西ハ曲陽、南ハ深澤、無極、新樂縣、北ハ望都及唐縣ニ接スル。東西ノ最廣處七〇支里、最狹處四五支里、南北ノ最長處九〇支里、最短處七〇支里ニシテ民國廿二年ノ實測トシテ發表セラレル面積ハ四六八方哩。即チ七四八^方邦里テアル。

定縣ハ全境平坦ノ平原ニシテ所謂河北大平野ノ右部ヲ占メ境内ニ山ナク從テ險要ノ關門カナイ。

河流トシテハ北ニ唐河、南ニ沙河、中央ニ孟良河アリ均シク西（水源地ハ山西省）ヨリ來テ東流スル。平時水無キモ降雨ノ季節ニハ河水汪洋トシテ充溢シ往々汎濫スル。但シ前述ノ通り平常水ナク殆ト涸レテイル爲ニ交通上ヨリ見テハ舟楫運輸ノ利便ナク又軍事上ヨリ見テモ何等ノ利用價值モナイノデアツテ定縣ノ河流ハ只害ヲナスコトノミ多シト稱シテモ決シテ過言テハナイ。

人口三九七一四九人ニシテツノ密度方哩大約八五〇人ニ相當スル。

(二) 定縣ノ沿革

定縣ノ起源沿革ヲ見ルニ初ハ冀州ニ屬シ後唐國トナリ春秋ニハ鮮虞國ニ屬シ戰國ニハ中山國ニ屬シテキル。秦ニハ鉅鹿郡ニ屬シ漢。晉ニハ中山國都トナル。南北朝ニハ後燕ノ國都トナル。元魏ハ行台ヲ置キ北周ハ總管ヲ設ケ唐ハ節度使ヲ設ケ宋ハ都部署ヲオキ金。元ハ府治トシ明。清ハ州治ト云フ風ニ歷代非常ニ重要視セラレテ來タ地デアル。

(三) 村落ノ分布狀況

定縣ニ滞在スルコト三月廿七日ヨリ四月八日迄拾三日間。此間城關視察以外ニ親シク實地ニ歩イテ視察シタ各村ハ縣城ヲ中心トシテ大体左ノ通りトナル

- 第一日城西 趙村、孟家莊一帶 一五ヶ村
- 第二日城北 清水河、清風店一帶 一九ヶ村
- 第三日城東 高頭村、東亭、翟城 二六ヶ村

- 第四日城西南 溝里、明月店一帶 二四ヶ村
 - 第五、六七城南 李親顧ヲ中心トスル一帶 三五ヶ村
 - 第八日城西々南 宮城、內化一帶 二六ヶ村
 - 第九日城西北 大西漫、西南宋一帶 二三ヶ村
- 合計 一六八ヶ村

其他途上何ノ問合セモセスニ通過シタ小村(二三〇戸ノ村)ヲ加算スレハ恐ラク一八〇ヶ村ニモ達スルコトト思フ。

定縣全体ニテ大小四五三ヶ村故ツノ四〇%ヲ見タ事トナル。コレラ實地ニ見タ處ヨリスレハ、唐河流域及沙河ノ一帶カ村落最モ疎ニシテ從テ人口ノ密度少ナク概シテ村落ハ縣城ヲ中心トシテ西南及東南ニ發達聚合シ更ニ北方清風店ヲ中心トシテ發達シテキル。

平漢鐵路ノ西側ニ余リ村落ノ發達シナイノハ土地カ割合ニ砂地ニシテ果樹以外ノ耕作ニ適シナイコトニヨルコトト思フ。

都市及村落ノ發達ハ概シテ水利アリ且ツ陸上ノ交通ノ便ノアル處ニ於テ行ハ

レルモノテアル。此點ヨリ見ルトキ定縣北部及南、中部ヲ並行ニ西ヨリ東流
 スル唐河、沙河及孟良河ノ三河ハ定縣ニ何ヤノ便益ヲモテサスニ却ツテ連年
 大汎濫ヲシテ害ノミヲ與ヘテイルモノテアルコトヲ知リ得ル。
 右三河地方カ多ク砂地ト化シテ農耕ニ適セス楊柳、白楊、楡ノ林ヲナリ從ツ
 テ村落ノ聚合ヲ見ナイノハ災害ノミ多ク少シモ益スルコトヲナイノヲ如實ニ
 語ツテキルモノテアル。
 唐河ノ流域約七〇支里ニ在ル村落數五〇ヶ村ニ滿タス。沙河又五〇支里ニ四
 〇ヶ村、孟良河流域ハ縣城ニ近キタメ一部地方ニハ可成リ村落聚合スルモコ
 レ又比較的尠少テアル。
 最モ村落多ク人口ノ稠密テアルノハ城ノ西南平漢鐵路ノ東ヨリ城ノ東南ニシ
 テ此地方ノ人口密度ハ一方哩一千人ニ達スル狀態テアルカ三河一帶ハ一方哩
 精々四五〇人位ノ密度テアル。
 全縣四五三ヶ村ノ分布狀況ヲ地圖ノ上ニテ拾ヒ縣城ノ各門ヨリ城ニ出入スル
 點ヨリシテ其村ノ數ヲ調アレハ大略左ノ通り
 南門ヨリ入ルモノ 一九三ヶ村

東門ヨリ入ルモノ 一一七ヶ村
 北門ヨリ入ルモノ 七六ヶ村
 西門ヨリ入ルモノ 六七ヶ村
 合 計 四五三ヶ村

戶數及人口ハ平教會ニテ教ヘラケヒソノママヲ記ス。即チ
 全縣 六八四七四戶 人口 三九七一四九人

右ノ中

城内 一六三〇戶 人口 一、一五〇〇人
 城內
 東西南
 ノ三關 五三六戶 人口 四〇〇〇人

全縣六區ノ戶數及人口ノ分布狀況ハ左ノ通り
 第四區 一五九六一戶 人口 九二四〇〇人
 第三區 一五六四三戶 人口 九〇六〇〇人
 第六區 一三〇四八戶 人口 七五三〇〇人

又各區ニ在ル村數ハ

第二區	七八七四戶	四五〇〇人
第五區	七五三五戶	四二九〇〇人
第一區	八四一四戶	五〇九〇〇人

城關共

第六區	九〇ヶ村
第三區	八三ヶ村
第四區	七三ヶ村
第五區	七三ヶ村
第一區	七一ヶ村
第二區	六三ヶ村
合計	四五三ヶ村

城關ヲ除ク。

以上ハ平教會ノ民國廿二年ノ調査ニヨル。

(四) 耕地面積

定縣ノ面積四六八方哩ヲ基準トシ之ヲ畝數ニ算定スル爲メニ老百姓ハモト
 白ヲ銀行、平教會及役人等ニツイテ畝ノ實測單位ヲ質シ計算セシメシタカ

46
880
887

ツノ説マチマチニテ頼ルハキモノカナイノテ已ムナク田間ニテ習慣トナツテ
 イル一畝地ノ算定

長母 二四〇複歩 巾 一複歩

ニツイテ彼等ノ實測ノ折ノ歩巾ヲ研究シテ計ツタ處大約左ノ結果ヲ得タ。

即チ 約 四〇〇米五一米六五 二相當スル。

右ヲ根據トシテ(單位)左ノ通りニ算定シタ。

一平方キロノ畝數 一五〇〇畝 $\frac{1320}{3.3}$

一平方哩ノ畝數 三八四〇畝 $\frac{495}{3.3}$

一平方邦里ノ畝數 二四〇〇〇畝 $\frac{5645}{2.3}$

定縣ハ四六八方哩。即チ七四八八方邦里デアル。ヲ全縣ノ畝數ヲ一七九七一
 二〇畝ト算出シタ。

右ノ中ヨリ非耕作地トシテ左ノ通り控除スル。

城關ノ非耕及房屋地 八五〇〇畝

各村四五三ヶ村ノ非耕地 九〇六〇〇畝

11797120
31359428
1198082
= 119,800 by 5

平漢鐵路用地	12.8米	1,000畝
唐河	32キロ X 200米	1,500畝
沙河	24キロ X 400米	3,500畝
孟良河	32キロ X 8米	1,000畝
其他ノ河川	48キロ X 12.8米	3,400畝
唐乾河ノ砂地		2,900畝
沙乾河ノ砂地		2,760畝
南部乾河ノ砂地		1,800畝
道路		1,800畝
砂丘		1,800畝
坎地(墓地)		1,100畝
合計		26,190畝

右差引耕地ハ 一五三五二二〇畝ヲナル。 十万石以下

定縣ハ河北大平野ノ中ニ在リ全縣總テ平地ニシテ丘陵ト稱スル。モノニテナ
 イ地方トテ全部既耕地トシテ見テモ田圃シク未耕地ト云フモノハ無イト云ツ
 テモ遺言テハナイ状態テアル。
 只唐河、沙河及南部ノ舊河道ニシテ現ニ一般土民カ乾河ト呼マ砂地一帯ハ強
 ヒテ云ヘハ未耕地トモ云ヘルカ寧ロ荒地トシテ見ル方カ妥當ト思ハレル。
 右ノ荒地ハ現在テハ楊柳、白楊、榆等ノ植林ヲナス處多ク全縣ニ亘ル所謂農
 作物不可能ノ爲メ已ムナク植林セタ所ノ畝數ハ實ニ十萬畝ニモ達スルトモ
 信スル。
 白楊ノ大樹ハ四十年位ヲ古イモノトシ。七年乃至十年ノモノカ最も多イ。田
 シラ荒地ハ植林ヲナシツノ落葉ノ堆積腐敗等ニヨツテ自然ニ土壤ヲ改良スル
 日々他ニ今ノ處方法ナク、定縣ノコノ實情ヲ見テ樹木ノアル處必ス村落ヲ形
 式スルト云フ北支ニ對スル從來ノ考ヘヲ一變シテ、樹木ノ茂ケル處即チ農作
 物不可能ノ瘠地、荒地ト云フ經驗ヲ得タ。

(五) 土地分配ノ狀況

東亭ヲ中心トスル土地分配状況ヲ張世文氏ノ語ル處ニ因ツテ左ニ記ス。
 六二ヶ村合計一〇、六四五戸。其九八%ハ農家テアツテ全部農ト見テモ差支ハ
 ナイ。此耕種面積二三、八五六〇畝テアルノテ其分配状況ハ一戸平均二二畝餘
 ニ相當スル。

各村ノ人家ノ多少ニ因リテ、此耕種面積ニモ差ハアルカ六二ヶ村ノ中平均一
 戸ノ畝數最少ヲ一、九畝トシ最大ヲ五〇畝トス。
 全村耕種面積ノ最小テアルノハ三二〇畝（二八戸）ニシテ一、〇〇〇畝未滿ハ
 六二村中テ四村、一、〇〇〇以上、五〇〇畝未滿ハ一、二ヶ村、五〇〇以上、五〇
 〇畝ノモノハ二八ヶ村五〇〇畝以上ハ一八ヶ村テアル。二、二九戸ニテ一
 一、五〇〇畝ヲ耕ス村、又一九戸ニテ九五〇畝ヲ耕ス村ノヤウニ一戸當リ耕地
 畝數ノ多イノハ稀ニ見ル處テアル。
 農家一〇、二九〇戸ノ中耕地所有一〇畝未滿ノモノハ三、六二五戸テ三五、二%一
 〇畝ヨリ三〇畝迄ノモノハ三、五三〇戸テ三四、三%、三〇以上五〇畝ハ六、八七戸
 ニシテ一六、四%五〇畝以上七〇畝六〇二戸五九、七%ヨリ一〇〇畝六、二六戸
 六、一%、一〇〇畝以上二二〇戸、三、一%ト云フ狀況テアル。

(六) 第一區七一ヶ村ノ土地分配状況

縣城ト東西南三關ノ大部分ハ耕地トナリツノ數約一九〇〇〇畝房屋テ占ムル
 處計五五〇〇畝。非耕地三〇〇〇畝テアル。

七一ヶ村ノ戸數六五五戸テ面積一四一、六二六畝、此中

戸數ニ對スル百分比

自有地無イモノ	一、〇二六戸	一、五七%
自有地一畝ニ滿タナイモノ	三、八九二戸	五、九三%
自有地二畝	一、〇六〇戸	一、六二%
自有地五〇、一〇〇畝	四、三七戸	六、七%
自有地一〇〇、一三〇〇畝	一、三一戸	二、〇%
自有地三〇〇畝以上	九戸	〇、一%
合計	六、五五五戸	一〇〇%

七一ヶ村ノ毎村平均一戸ノ自有地畝數ヲ見ルニ每戸一二畝ト云フモノカアリ
 中ニハ三七畝ヲ有スルモノカアルカ、ソノ大多數ハ二五畝内外テアル。假ニ
 村内全戸數（農商ノ別ヲ問ハス）ヲ以テ見レハ少ナイノハ一〇畝、多キハ三

六畝トナリ、大多數ハ二二畝左右トナル狀況デアル。

(七) 農耕ノ方法

農耕ノ方法ハ舊來ノママテ何等特記スヘキモノカ無イカ兔ニ角縣城ヲ中心トシテ東西南北ニ分ケテ説明スル。

(イ) 西部即チ砂地多クシテ旱害ヲ最モ受ケヤスイ地方テハ、小麥作ハ一畝ヲ六〇位ニ小仕切ヲナシ三坪位ニシ、每三畝位ニ小溝ヲ掘リソレニ井戸水ヲ流シテ順次小仕切ニシタ畑ニ灌溉スルモノテ、大平野ノ中ニ坦々トシテ展クル處トテ大耕法ヲ採用出來ルノニモ不拘水利惡イカ故ニ斯様ナ方法ヲ採ツテイルモノデアル。此灌溉ノ場合最少二人ヲ必要トスル。一人ハ井戸水ノ汲ミ揚ルニ從ヒ一人ハ小溝ノ水ヲ順次畑ニ灌スルモノデアル。

日本ノヤウニ麥ヲ踏ムト云フコトヲセヌ。時恰モ棉及高粮等ノ播種ノ爲メノ耕作中テアツタカ、只畑ヲ鋤キ起シ(ハ驢、騾牛ナトニ鋤ヲ曳カスル)其ノ土ヲ細カニ碎キ耕ス爲メニ燕尾耨、鐵竹把等ノ碎土器ヲ驢騾牛ノ牲口ニ曳カセ、然ル後ニ堆肥ヲ施シテ混スルニ過キヌ。土ヲ鋤キオコスノモ僅カニ四寸甚タシイノハ三寸位ノ處モアル。日本ノヤウニ雨量多ク且ツ灌溉ノ便アル地デアレハ格別タカ、砂地テソレテナクトモ早

災ヲ受ケヤスク、砂カモ粘土ヲ混スル爲メニ相當ニ固ク、ソレカタメニ畑ニ殘ル昨年ノ棉ヲ抜イテ見ルニ根ヲ深ク地下ニ伸ハスコト出來スシテ直チニ曲ツテ居ルノヲ見ル土地ニ於テ尙ホ斯様ナ淺耕作デアルカラソノ收穫ニ良結果ヲ得ル道理カナイ。

(ロ) 北部、唐河ヲ渡ツテハシメテ麥畑ヲ見ルト云フ位ニ此地方ハ唐河汎濫ノ害ヲ受ケテ居ルノデアル。ソノ上北門外ヨリ清水河村ニ至ル十支里ノ間ハ所謂唐河ノ舊河道テアツテ現稱乾河地域ニシテ視野ノ限リ砂地ノツツク處デアル。

唐河ヲ渡リテハシメテ見ル麥ノ耕作法ハ西部ノヤウニ小仕切ニハシテイヌカソレテモ尙ホ一畝ヲ一五ト二〇ニ仕切ツテ井戸水ヲ灌溉シテイル。棉及穀物ヲ作ル畑ノ耕作法ハ同様デアル。

(ニ) 氣部、城東平教會ノ實驗村デアル高頭村ノ小麥ノ作柄ハ却良好デアル麥ノ畝(畦)ノ巾西及北部ヨリモ少シ廣クシテ約五寸アル。高頭村テハ畝ト畝トノ間ノ土ヲ叩キテキルノヲ認メタ。所謂麥ヲフンテ固クナル土地ヲ軟クスルモノデアル。

灌溉ノタメノ仕切ハ甚多數少ナクナツテ一畝七八仕切トナル。畑ヲ鋤キオコシ之ヲ碎キ堆肥ヲ施スコトハ同シ。

東亭一帯ハ落花生カ多イカ耕作法ハ同様テアル。

(ニ) 西南。明月店一帯モ亦略々同シテアル。

(ホ) 南。李親願地方モ特殊ノ耕作ヲ認メヌ。

要之ニ農耕ノ法ハ在來ノママヲ繼承スルモノテソノ間ニ何等ノ理論モ無ケレハ改良モナク、種子ノ品質モ逐年退化シテ居ルモノヲ用ル。土地モ亦深耕法ニヨツテ一面旱害ヲ防キ、一面土地ノ新陳代謝ヲナスコトヲ計ラス只表面ヨリ三四寸ノ土地ヲ化學肥料ヲ施サスニ連年酷使スルカ爲メニ好結果ヲ得ル管カナイ。彼等老百姓ニ深耕法約一呎ノ深サニ掘リオコス事ヲ再三説イタカツノ都度得ル處ノ答ハ只

牲口拉不動。

テアツタ。ヨツテ一回ニ鋤キオコスニハ先ツツノ鋤ツノモノヲ改良スル必要アルニツキ二回ニ耕スコトヲスヌタ處老百姓ノ答ハハ

没工夫。テアツタ。

毎年必ズ缺損シテキル彼等、非常ニ疲弊シテキル老百姓ニコノ深耕法ヲ説イテモ彼等ノ答ヘノ通り、牲口拉不動、及没工夫テアツテ全ク余裕ト云フモノヲモタヌ現状カラシテ誠ニ道理カモ知レヌ。ツレニ祖先傳來ノ經驗ヲ頑固ニ保守シテキル老百姓トテ速カニソノ陋習ヲ改革サセルコトハ困難カモ知レヌカ。此點ハ平教會諸君ノ老百姓ヲ領導スルツノ手腕ニ俟ツコトトスル。

(八) 農民ノ狀況

農村社會ノ階級ヲ左ノ通りニ區別シテ其狀況ヲ調ヘル事ニスル即チ

(イ) 自耕農ハ自有田ヲ自ラ耕作スルモノ。

(ロ) 半自耕農ハ耕田中一部ハ自有田、一部ハ他カラ借リテ耕作スルモノ。

(ハ) 自耕農兼租出、ハ自有田ヲ自ラ耕シ且ツソノ一部ヲ他ニ貸與スルモノ。

(ニ) 佃農ハ小作農ニシテ地主ノ地ヲカリテ耕作ニ從フモノ

(ホ) 雇農ハ所謂農工階級テアツテ作男ニ相當スルモノ

(ヘ) 全部貸出シノ地主ハ自有田ヲ全部貸シテ耕作ヲシナキモノ

(1) 地主ニモアラス、又耕作モシナイ階級

右ニツイテ平教會張君ニ訓ヘテ乞ウタ感、第一區七一ヶ村ニツクテ大様
左ノ通り説明シテクンタ。即チ七一村六五五五戸ノ中

自耕農	二六八二戸	四一%	總家數ノ百分比
半自耕農	二三〇八戸	三五%	
自耕農兼租出	四四四戸	六八%	
佃農	七四二戸	一一四%	
雇農	一一〇戸	一七%	
全部貸出シノ地主	九五戸	一四%	
地主ニモアラス又 耕作モシナイモノ	一七四戸	三七%	
合計	六五五五戸	一〇〇%	

即チ六五五五戸中自耕農(勿論全部或ハ一部)ハ合計五四三四戸テ八三
%ヲ占メコレヲ農家ノ自有田ハ計一二〇六三五畝。借り受ケ耕作面積ハ
二二六四〇畝。貸出シノ面積ハ一五六三八畝。合計一五八九一三畝

自耕農二六八二戸ノ耕作地ハ六三一五二畝テ平均毎戸二四畝、半自耕
農二三〇八戸ノ耕作地ハ六〇二五三畝テソノ中自有地三七六一三畝。借
リウケ耕作地二二六四〇畝ニシテ平均一戸當リ二六畝テアル。

自耕農兼租出ノ四四四戸ノ所有地三五五〇八畝ニシテ自耕地ハ、一九
八七〇畝。而シテ貸出シハ一五六三八畝テアル。
以上合計、一五八九一三畝

佃農七四二戸ノ借リウケ耕作地ハ一三四〇八畝テ平均一戸當リ一七畝
テ全部貸出シノ九五五戸ノ地主ノ貸出地ハ五三三五三畝テ平均五六畝ニ當ル
半自耕農二三〇八戸中、農産品、即チ糧食ヲ以テ地代ヲ納ムルモノ一
八〇一戸アリ、金錢ヲ以テ納ムルモノ三八一戸、棉花ノ收穫ヲ納ムルモノ
一〇七戸アリ、更ニ農産收穫ヲ折半スルモノ一〇戸ト云フ狀況ニナツ
テキル。

佃農七四二戸ノ納租法ハ農産品ヲ以テスルモノ六〇七戸、金錢ヲ以テ
スルモノ一一四戸、棉花ヲ納ムルモノ二一戸テアル。
而シテ大勢ハ自耕農ト半自耕農カ漸次増加シ佃農ハ漸ク減少ノ傾向ニア

ル。

(九) 租田ノ手續方法

耕地ヲ借りルニアタリ所謂租田契約ヲトリカワスモノアリ、又トリカワ
サスニ只口約束(口頭)ヲ以テ定ムルモノアリ。其場合口頭ヲ以テスルモノハ直接地主ニ交渉シテ租田ノ價格ヲ定メソノ
約束ノ時期ニナルト納ムルモノテアツテ豫メ租田契約ヲトリカワスモノ
ハ中間ニ紹介人ヲ立テテ契約ヲナシ、ソノ契約ニヨツテ地代ヲオサムル
モノデアル。

租田ノ方法ハ普通ハ農産ヲ以テオサムルモノ多數デアアルカ、金錢ヲ以
テオサムルモノ近來増加ノ傾向ヲ示シツツアル狀況デアアル但シ現在ノ處
農産ヲ以テ納ムルモノノ方カ尙ホ多イノデアアル。
金錢ヲ以テ地代ヲオサムルト云フ方法ハ主トシテ佃農對地主ノモノテ、
每畝若干ト定メテソノ地代ヲ金錢ニテ納メサセルモノデアアル。地主ハ只
契約ニヨツテ其地代ヲトルモノテ、作柄ノ豊凶ハ全然別問題デアアル。
此地代ヲトリ立テル事ニツイテハ勿論金錢納租ハカリテナク、農産ヲ以
テオサムルモノモ同様デアツテ只契約ニ基イテソノ履行ヲ要求スルノテ

アル。

地主ハ佃農ニ對シ耕地ノ外ハ農具等ヲ供給セシメ只井戸及ヒ水車ヲ供
給スルノミデアル。

(十) 每畝ノ地價及ヒ地代

農村ノ不況甚ダシク破産ニ瀕セル現状トテ土地需給ノ關係上地價ハコノ
三三年來毎年非常ナ下落ヲ示シ一兩年前ニ比較スレハ本年ハ約ソノ半數
以下トナツテ居ル狀況デアアル。
即チ民國廿一年ニハ左ノ通り

等級	一畝ノ地價	一畝ノ地代	地代ノ地價ノ百分比
上	七〇〇元	六〇〇	八五七%
中	四〇〇〇	三五〇	八七五%
下	二四〇〇	一四〇	五〇八%

然ルニ民國廿二年及廿三年ニハ四三元、二九元、一七元ト低下シ本年ハ
更ニ一入ノ下落ヲ示シテ民國廿一年ニ比較スルトソノ半額以下トナリ、

自然ニ農村ノ財産カソレ丈減少スルノ結果トナツタ。即チ

等級	一畝ノ地價	一畝ノ地代	地代ノ地價ノ百分比
上	二九〇〇	三〇〇	一〇・三%
中	一八〇〇	一六〇	八・八%
下	八〇〇	七〇	八・七五%

地代ノ高低及耕地ノ價値ハ各村ノ習慣ニヨツテモ可成り左右セラルル事ト
ト思フカ左ノ狀況ニヨツテ高低アルコト。最モ大ナル事ニ注意スヘキテ
アル。即チ

- (一) 糧食買賣ノ集市ニ近イ處ハ比較的地價及地代高シ。
- (二) 運輸不便。又河ニ近クシテ汎濫ノ患ヒアル處ハ低シ。

十一 地代收納ノ時期

金錢ヲ以テ納ムルモノハ。灌溉用ノ井戸ノアル地ハ舊曆二月初旬テ旱地ハ
ハ清明節(舊曆三月ハシメ)前後デアル。
契約ノ納期ニナレハ多クハ佃農ヨリ地主ノ許ニ届クルモノテ。中ニハ地

主ヨリ催促セラレテハシメテ納ムルモノモアル。

此金錢納租ノ法ハ理論カラ云ヘハ双方便利デアル。何トナレハ地代ハ耕作
前ニ取り立ツルモノテコレヲ上納租ト云ヒ之ニヨツテ五月蠅イ小作爭議ナ
トフ完全ニ免カレ得ルシ且ツ又地主ハ佃農ヲ監督スル必要カナイカラテア
ル。

一面佃農ヨリ見ルモ已ニ地代ヲ納メタモノ故自由ニ耕作出来、ツノ間ニ地
主ノ干涉ヲウケヌト云フ有様デアルノテ。此金錢納租ノ法ハ今後益々増加
スルコトト思ハルル。

但シ農村窮乏ノトシ底ニアル現狀ヨリ見テ佃農ニ地代前納ノ余裕ナトアル
筈ナク此點ヨリ此法ヲ見レハ實現ハ却々困難デアツテ萬一地主カ飽ク迄モ
此法ヲ固持スルニ於テハ佃農ハ耕作不可能トナリ農村ノ荒廢ハ一入深刻
ナル事ト思考セラルル。

右ノ他ニ農産納租法カアル。即チ佃農ハ每畝一定ノ農産收穫ヲオサムルモ
ノテツノ數量ハ大体下ノ通りデアル。

農産品目	上等地	中等地	下等地
棉花	三五斤	二〇斤	八斤
穀子	五斗	三斗	一五斗
小麥	三五斗	二斗	乃至〇六斗
高糧		四斗	二斗

即チ農産收穫、棉花ヲ以テオサムル場合ニハ何斤、穀子ノキハ何斗ト規定スルモノデアル。

農産ヲ以テ地代ヲ納ムルコトハ農産市價ノ變動ニヨリ或ハ金錢納租ヨリモハルガニヤスキトキモアリ反對ニ高イ折モアル。

從來多クハ農産ヲ以テ納租スルモノカ多カツタタメニ、錢法一習慣トナツテキルモノテ今直チニ之ヲ改ムルコトハ却々困難デアルカ、前述ノ通り近來漸ク金錢納租ノ法カ流行シテ來タ。

農産納租トノ比較ハ或ル地方テハ高ク、或ル地方テハヤスキシテ誠ニ困難デアルカ、金錢納租法ニ改メラルレハ、略々一定スルモノデアル。

十二) 農産ノ納租時期、農産分租法及年限

農産納租ノ時期ニツイテ見ルニ、小麥ヲ以テ納租スル契約ノモノハ春小麥收穫ノ後ニ納メ、穀子ヤ棉花ヲ以テスルモノハ秋ノ收穫ヲ以テオサムル。其方法ハ賃借人カソノ農産ヲ地主ノ家ニ送り行クモノテ、時ニハ變通辦法アリ即チ棉花ヲ以テオサムル契約ノ處穀子ヲ以テ棉花ニ代納スルコトモ出來ルモノデアル。

ソノ折ニハ市價ニ照シテ公平ノ數量ヲ定ムルモノデアル。

農産分租法ニツイテ見ルニコノ法ハ佃農カ地主ノ畑ヲ耕作シソノ農産收穫ヲ俟テ分配スルモノテ其分配率ハ

(イ) 半分租法即チ地主ト佃農ト各農産物ヲ折半シ、柴草ハ佃農ニ歸シ禾稗ヤ高糧稗ハ兩者テ折半スル。

(ロ) 四分六分租法ハ地主カ十分ノ四ヲナリ、佃農カソノ六ヲトル。

コレラハ耕地以外ニ地主ヨリ何モ農具ナトヲ供給セス、分配ノ折ニハ地主カ佃農ノ許ニ赴イテ受ケトルヲ常トスル。但シコノ租地法ハ近來次第ニ減シ東部地方覆城一帶テハ殆ト見ラレヌト云フ。

傭工佃種法ハ地主ヨリ種子、肥料、房屋、牲畜ヲ供給シ佃農ハ勞力ヲ提供スル所謂勞資供給ノ法デアリ。農作物收穫ノ後小麥ナリハ地主六、佃農四ノ所得トナルノヲ習慣トスル。

此法ハ現在ナホ各地テ少シツツ見ラルル處デアリ。

租地ノ年限ハ民國ノ初年ニハ五年、十年ト云々形式テソノママ繼續シタモノデアルト云フカ近來ハ以前ニ比較スレハ可成リ短期トナリ普通五年ヲ以テソノ年限トナシ模様デアリ。

但シタトヘツノ期限ニナツテモ地代ヲ完全ニオサメテキル者ハソノ希望ニヨツテソノママ更ニ繼續出來ルモノデアリ。

ナホ次ノ通り耕地ノ狀況、納租ノ別ニヨツテ年限ニ差カアル。

(イ) 灌溉用ノ井戸ヲ有スル耕地ハ多ク五年ヲ以テ期限トスル。

(ロ) 旱地ハ三年トスル

(ハ) 農産分租法ハ一年トスル

(ニ) 傭工佃種法ハ一年トス

西瓜ヤ瓜類ヲ作ルモノニハ此法カ多イト云フ

(十三) 地主ト佃農トノ關係

地主對佃農(小作農)關係ハ最モ六ヶ敷シイモノデアリカ。彼等老百姓ノ語ル處ヲ綜合スレハ、双方同族又ハ近隣、或ハ同郷ノ關係上感情ハ割合ニ融合シ婚喪ナトニ遭ヘハ相互ニ慶弔往來シコレカタメ佃農カ地代ノ納付ヲ拒ンタリ、或ハ地主カ欺詐シタリ又ハ威嚇シタリスル事件、等ハ余り起ラズ。概シテ良好デアルト云フモ前述ノ通り上納租ヲトル金錢納租ノ租地法ニヨリ、數カ漸次多クナル傾向ヨリ見テ左迄良好テナナイヤウニ思考セラ

ル。李親應ニ於テ佃農致人ト語リ詳シク彼等ノ意向ヲ聞イタ處ニヨレハ破産狀態ニ在ル農村ノ現狀ニ於テ金錢先取リト云フ所謂上納租ノ租地法ハ彼等ニハ到底出來ナイモノデアルトテ容易ニ耕地ヲ借リルコトノ出來サル此方法ニ對シテ呪ヒノ言動ヲナシテモタノヲキイタカ、事實此法ハ現狀況ニ即シナイモノデアツテ大イニ改良ヲ要スル事ト思ハル。

(十四) 雇農(農工)ノ狀況

農工

其作工ノ時日ノ長短ニヨツテ之ヲ長工、月工及日工ニ分ケル。

(イ) 長工ハ冬ヲ越スモノト越サズモノトアリ。越冬スルモノハ舊曆十月一日ヨリ翌年ノ十月一日迄。又ハ二月一日ヨリ明年二月一日迄トスル。

(ロ) 越冬シナイモノハ普通正月十六日ヨリ十月一日ニ至ツテ止ム。備用工人ノ工賃毎月計算ノモノハ之ヲ月工ト稱ス。

(ハ) コレヲ月工ハ大抵農繁時期ニ長工ノ補充ヲナスモノテ普通三四ヶ月テアルタメニ別ニ季工トモ稱ス。

(ニ) 毎日計算ノモノハ日工又ハ短工トモ稱ス。

コノ短工ハ農繁期ニナレハ毎早農村ノ辻ニ集合シテ農家ノ備用ヲ待ツモノテコレヲ一般ニ人市ト云フ。農家テ農工ヲ必要ノトキニハ此人市ニ行ツテ隨意ニヤトヒ双方直接工賃ヲ定ムルモノテアル。コレヲ短工ハ皆貧農テアツテ、自家ノ耕作カスクナイ爲メニ人市ニ出ルモノテ之ヲ雇フモノハ又概シテ小農テアル。

大農ハコレヲ短工ヲヤトツテ長工ヲ手傳ハセルノテアルカ、小農ハ自分ノ手助ケヲサセルモノテ非常ニ經濟的ノモノテアル。

長工ノ頭ハ掌作ト云ヒ大頭ト二頭ト二種カアリ。大頭ハ農工全体ノ指導ト支配ノ責ヲ負ヒ工賃ハ最も多イ。

普通大頭ハ一般農工ニ比シ三分ノ一以上ハ高ク、二頭ノ工賃ハソレニツキ一般農工ヨリモ少シ高イノテアル。

農工ハ傭主ノ家長ニ對シテハ皆、當家的又ハ主人ト云ヒ、傭主ハ農工ニ對シテハソノ名ヲ呼ビ姓ヲ呼フ時ニハ老ノ字ヲツケルノヲ普通トスル。即チ老李、老王ト云フ風ニ呼フノテアル。

工賃ハ一年洋三〇―四〇元ト云フカソレハ三三年前ノ狀況テアツテ現在各地テ調フル處ニヨルト洋二〇元―二五元テアツテ洋二五元ノモノハ數年間ツツケテ備ハレテ來テキルモノノミニ限ル有様テ、普通ハ洋一八元程度ノモノテアル。

コレヲ長工ノ中ニハ山東省ヨリ來テキルモノカ却々多イ。

月工ハ極クヨイモノテ洋六元テアルカ、洋二元五〇仙ヨリ四元程度カ一般テアル。

日工(短工)ハ平常ハ八仙、一三仙、一八仙位テアツテ二食支支給セラ

ルモノテアル。一日働イテ四百文ト云フモノ即チ八仙位ノモノ多ク中ニハ三仙(百五十文)ト云フモノアラアル。

農工ハ皆飯ト房屋トヲ給セラルル。但シ日工ハ食ノミ。工賃長工ハ二期ニ領收シ一ハ仕事ニ着手ト同時ニ。一半ハ仲秋ニ領收スル越冬シナイモノハ一回テアツテ、清明節前後(舊曆三月初)テアル。

月工ハ仕事ニツイテカラ數日。或ハ仕事終了ノ折ニウケルモノテアル。日工ハ毎夕刻ニ領收スル。日工ノ工賃ハ日ニヨツテ異ル。

即チ農事ノ繁閑ニヨツテ高低カアリ、四月末(舊曆)ノ小麥收穫ノ頃ハ最も多忙ノ折テコノトキコソハ日工ノ書入レ時テアツテ、工賃ハトキニヨツテ洋一元ニモノホルコトカアルト云フカ、不況ノ農村現状ヨリシテハ恐ラクツノ半分位カ精一杯ノ處ト思フ。

長工ノ食事ハ一日三度テ主食ハ白薯、穀子、蕎麥、豆麵、棒子麵(玉米麵)テアツテソノ量ハ一ヶ月白薯三五斤、麵モノ二五斤(穀類一斗五升ヲ粉ニシタ斤數)テアル。

尙ホ長工ニハ正月、清明、端午、仲秋、臘八、冬至節ハ勿論ソレ以外ニモ時折農主ヨリ酒肉ヲ給シテ勞ヲ犒マテ云フ。

正月ハ三日ト五日ト休養ヲ與ヘソノ他人各節ニハ半日ノ暇ヲ與ヘラレルト云フ。

比較的収入ノヨイ木匠、瓦匠ノ工賃ヲ調ヘタ處一日四〇―四五仙、食ヲ支給セラルルモノハ二五仙―三〇仙テアル。

明月店テ一農工ニソノ日收ヲ問フタ處、食ハ支給セラレテ四百文、歲ハ廿四ノ働キ盛リノ者テアル。四百文ト云ヘハ七仙七厘、約八仙、ソレテ何ラノ不平モナケレハ、不思議トモ思ツテ居ラス、夕刻四百文ノ銅貨ヲ得テ満足シテ茅屋ニカヘルノテアル。

城内平教會生計部ノ農園八〇畝ニ牲畜掛リノ農工トモ一二人、城外高頭村ノ同會實驗農場六二〇畝ニハ現在一七人ノ農工カキテ耕作ニ從事シ職員カ之ヲ指導シテキル。高頭村ニハ農繁期ニ入レハ月工ヲヤトヒ入レ合

計四〇人ニナルト云フ。而シテ長工ノ給料ハ毎月計算支給スルモノテ房屋ヲ支給、食事ハ農工負擔テ一ヶ月八元、農繁期ニヤトヒ入レハ月工ハ房屋タケヲ給シテ洋六元テアルト云フ。

一般農家ニヤトハルルヨリモハルカニ好條件テアル。

大畠ノ家テ夕刻彼ラ農工拾余人ノ食事スルノヲ見タカ院子ニ大キナ低イ台ヲモテ出シソノ周リニ坐シテ食ヲモノテ「窩頭」穀子、玉米、高糧ノ粉ニテ作ツタモノ、只蘿蔔片ノ漬物テ食ヲモノテ外ニハ何ノ菜モナク大蒜ヲ少シツツ咬ミナカラ飽食スルモノテアル。

貧農ヤ彼ラ農工ノ生活ヲ見ルトキ人間トシテノ最低級ノモノテアツテコレ以下ノ生活ハオソラクナク又左様ナ生活ハ到底想像出來ナイ状態ニアルノテアル。

シカモソレテナホアレタケノ勞働ニ耐エ得ルノデアルカラ、彼等ノ底力ニハ驚嘆スル。

十五) 農民ノ生活狀況

(イ) 家庭組織ト房屋

中國ノ家庭組織ハ所謂大家族制度テアツテ家長制度ヲ採ツテ居リ多クハ我カ國ノヤウニ分家スルコトナク皆一家内ニ同居スルモノテ、幾組モノ夫

婦、子女ノ共同生活カ營マレ、ソノ大ナルモノハ二十人三十人ヲ越ヘルモノモ決シテ珍シクナイ狀況デアルカ地方ニ出テ門口ニ貼布シテアル戸口調査表ヲ見ルト、最小ノ家庭ハ二人、最大ニ六人ノモノカアリ、一戸當リ七人ノモノカ割合ニ多ク、五人ノモノカソレニ次キ四人ト六人ト云フ順序ニナツテキテ、平均每家五八人乃至六人ニシテ男三一人、女三九人ノ割合ニナツテキル。

農民ノ住ム家ニモ大畠大家族ノ家ト、小農、佃農トハ自然異ツテキル。先ツ參考迄ニ富農ノ家ノ狀況ヲ記スルコトニスル。

城南、北平谷ノ莊頭テ六〇〇畝ヲモツ富農ノ家ヲ訪ツレテ房屋ノ狀況ヲ見セテモラツタカ、高サ二間位ノ煉瓦塀ニ圍マレタ誠ニ堂々タル構ヘテ前院中院、後院、菜園、收穫場ナトアリ、房屋ハ磚瓦ニテ積ミ屋根ハ石灰ト土ニテ極ク傾斜ノユルヤカナ平ニヌリアケ(三和土トスル)ソノ上ニ障壁ヲツクリ中央ニ高イ望樓ヲツクツテ匪賊ソノ他ノ襲來ニツナエ舊式ノ銃アリ常に警戒見張りヲシテキル。

前院、中院、後院、菜園ヲ含ム邸内ノ廣サ約一二三畝アリ實ニ堂々タルモノデアル。

普通房屋ヲ數フルニハ一間房ヲ單位トシテキルカ、コレハ間口一〇呎、奥行九一〇呎、高サ八一九呎デアルカコノ富農ノ邸内ニハ二六間房アリ、ツノ中ニ臥房、厨房、倉房、農具房、磨房、碾房、畜房、飼料房、工人ノ住房、車棚、廁所、猪圈ナトカアリ臥房ニハ北支ノ常トシテ炕(温突)ヲツクル。炕ノ長サ一〇呎余巾五呎余高サ二呎余テツノ上ニアンペラヲ敷キ赤色ノワエルトヲ敷キツメテキル。

倉房ハ糧食ヲ貯藏シ、農具房ニハ鋤、犁、鍬等ヲ藏シ、磨房ニハ磨(石臼)碾房ニハ碾子(石臼)カアツテ麵粉ヲツクル。

飼料房ニハ家畜ノ飼料ヲ貯ヘ、工人住房ハ農工ノ住居、畜房ハ牲畜ヲ飼フ車棚ハ即チ大車ヤ小車(一輪車)ヲ入レ猪圈ハ豚小屋デアル。此富農ノ家族ハ二四人、農工八人、耕牛三頭、驢、騾馬各四頭ト云フ大人數デアル。

大車二 小車一

右ノヤウナ大家族ノ家ハ定縣テハ誠ニ稀ニ見ル處デアル。

サテ一方所謂貧農階級ノ生活状態ヲ見ルト大部分ハ自己所有ノ房屋デアルカ誠ニミホラシイモノデアル。

大抵土坯(煉瓦ノ型ニ固メタハカリテ燒カナイモノ)テツクリツレニ土ヲヌリ屋根ハ高粮桿ニテ覆ヒツノ上ヲ泥ヲヌリカタメタモノテ、比較的日イ房屋テ精々二呎磚瓦テツミツレ以上ハ土坯ヲ積ムト云フ有様デアル。炕ヲツクリアンペラヲ敷キツノ上ニヤスモ^ムノテ普通一間房ニ三呎角ノ窓カ一ツアルノミテ内ハ薄暗イ。

普通農家テハ院子モアリ土坯ノ牆ヲ以テ家ヲカコシテキルカ、貧農ノ家ニハ殆ト牆ヲ有セヌ狀況デアル。

一戸五人ノ貧農ノ家庭テハ精々二間房乃至三間房テ食専用ノ炊事器具等ハ皆此^ハマイ房内ニ置クモノデアル。而シテ便所ナトハツノ設備ナク主ニ村ノ共同便所ヲ使用シテキル。

コレヲ貧農ノ住房ヲ賃借スルトシテツノ家賃ヲ調ヘタ處毎月一間房ノ家賃八百文ヨリ一串文。即チ洋一五仙乃至二〇仙位デアツテ一年約洋二元デアル。(洋一元ヲ銅貨ニ換ヘルト五串二百文)

(ロ) 農家ノ收入及ヒ生活費ノ支出概況

コレラ農家ニツイテツノ收入及ツノ生活費ヲ研究セシムルニ當リ先ツ考慮ヲ要スルノハ成年ノ男女ト兒女トハ可成リ相違アリ。又成年男女テモ男ト女トハコレモ亦異ルモノテアル。今假リニ成年ノ男ヲ一トシ女ヲ〇・八トシ拾才未滿ノ二兒女ヲ〇・五、老父母ヲ一及〇・八トシテノ一家六人ノ家庭ニツイテ調フルコトニスレハ成年男子ニ等シイ數ハ四六人トナリ、平均シテ見ルト四一人乃至四六人ヲ普通トスル狀況テアル。

コレラ農家ノ農場ヨリノ收入ヲ見ルニ最小洋六六元ニシテ多クハ洋一五〇元内外テアル。次ニ副業ノ收入ヲ見ルト、各戸ニテ飼フ猪、鶏及鶏蛋、驢騾ヲウツタ代金(驢騾ナトハ毎年賣ルコトハ不可能タカ、賣リ出ス農家カ相當數アルノテアケテ見タ)樹木ヲウツタ收入又ハ耕地ヲ貸シ出シタ農家ノ地代收入等ヲ考ヘルト年ニ平均二元一三四元位ニノホル模様テアル畑十畝ヲ耕スモノノ收入ヲ見ルニ小麥ヲ作り、ソノ收穫後二次作トシテ豆或ハ穀子ヲツクルトシテ小麥ノ收穫定縣ニ於テノ普通成績テアル一畝ニツキ六老斗(老斗ハ大斗トモ云ヒ約新斗ノ一・五斗ニ當ルコレニツイテハ後ニ

説明スル)トスルト新斗ニシテ九斗此値段一斗洋六五仙トシテ洋五元八五仙、豆ヲ四老斗即六新斗トシテ洋四五仙テ洋二元七〇仙トナリ、一年ノ收入一畝洋八元五五仙トナル。

故ニ十畝ヲ耕スモノノ收入ハ一年大約洋八〇元乃至九〇元トナリ此程度ノモノカ最も多イノテアル。

大体ニ於テ洋二〇〇元未滿カ多ク洋二〇〇元以上(二五畝以上)ハ極ク僅カテアツテ全年ノ收入洋四〇〇元ヲ得ルモノハ一村ニ一戸或ハ皆無ノ村モアルト云フ狀況テアル。

大体右述ノヤウナ狀況テアルカラ彼等農民ノ生活ニツイテハ一年洋八〇元ヨリ洋一五〇元程度ノ收入アルモノニツイテ調ヘテ行クコトトスル。

サテ彼ラ貧農階級ノ生活費ニツイテ見ルニソノ支出ノ大部分ハ食費テアツテ約七〇%ヲ占ムル狀態テアル。經濟學者ノ説ク、收入ノ半ヲ衣食住ニ費スモノハ既ニ貧民テアルト云フノニ食丈ニツノ三分ノ二ヲ支出スル彼等ノユトリノナイ生活程度ハ推シテ知ルヘシテアル。

次ハ燃料、衣服、ソノ他雜費トシテ支出スルモノテ住房ヲ賃借ノモノハコ

ノ費ヲモ考ヘネハナラヌ。

食品支出ノ大部分ハ白薯、米麵テ約八二%野菜一三%調味三%肉二%ノ割合テアル。

雜費ハ應酬費、税、酒烟草、冠婚葬祭、娛樂、醫藥、教育、拜神、等ニ支出スルモノテアル。

右ノ年收洋八〇元一五〇元未滿ノモノハ右ノヤウナキリツメタ生活ヲシテモ尙ホ收支償ハヌモノテ、彼ラ老百姓ニ云ハスレハ、毎年吃虧了。テアル。

(ハ)食料ノ研究

老百姓ノ食料ニツイテ調ナルニ白薯、穀子、小麥、高粮、蕎麥ヲ主トスル。シカモ穀子、小麥ヲ第一食トセスニ、白薯ヲ主トスル處ニ考慮スヘキテアル。一年間ニ成年男子ノ食フ量ハ

白薯	四二〇斤	平均	一一五斤
小麥	八〇斤		〇二二斤
穀子	一九五斤		〇五三斤

白薯片 一〇四斤 〇三〇斤

即チ白薯ニニ穀物(麵粉ニシテ)一ノ割合テアル。
白薯ハ蒸シ又ハ煮、或ハ生ノママカシルモノテアル。白薯片ハ薄ク切ツテ乾シテ保存シ麵粉ヤ菜ト雜炊(糊狀ニスル)ニシテ喰フ。老百姓ニ十仙ヲ與ヘテ一杯食ツテ見タカ四川省ノ玉米麵ノ雜炊ト略々同シク可以吃。テアル。

小麥ハ穀付ノママ粉ニスルノテ色ハ黒味ヲ帶ビ食フトザラザラシテ不快テアルカ量ヲ増ス點ヨリ見テ之モイタシ方カナイ。
高粮、豆、小麥、稷子等ハ皆粉ニシテ饅々ヲツクリ烙餅、窩頭トシ又ハ白麵(鹽ト甜ト香油ヲ少シ混スルノミ)トシテ食フ。
菜、白菜、蘿蔔片、夏期ノ胡瓜等モ成年男子一人一年ニハ百余斤ヲ消費スル狀況テアル。

註、一年間ニ食フ量ノ中ニ小麥ト穀子シカアケナカツタカ、場所ニヨリ玉米ノ多イ處モアリ高粮ノ多イ處モアルノテ要之ニ自分テ作ツタモノヲ食ヘルノタカラ必スシモアノ通りニナルノテハナイ。只白薯ト穀物トノ比較

スル迄ニアケタモノテアル。

調味料、成年男子一人全年洋一元ト云フ貧弱サテ問題外ト云フヨリモ全ク想像ニ苦シム狀況テアル。調味料一日三厘、鹽ハ一年七斤テ洋七〇仙テアルカラ他ノ三〇仙テ醋、香油、醬、ヲ求ムルモノテ、砂糖ノ消費ハ貧農テハ皆無テアル。子供ラニ角砂糖ヤ氷砂糖ノ一塊ヲ與ヘレハソレヲ碎イテ大人マテモ分ケテ嘗メル程テ終生砂糖ヲ知ラスニ世ヲ去ルモノカ多クアル模様テアル。

右ノヤウナ狀況ヲ以テ之ヲ見ルニ砂糖、味噌、醬油ソノ他ノ調味料ヲ消費スルコト殆ト皆無ノ狀態テ只鹽ヲ以テ唯一ノモノトシテキル彼等アルノニモ不拘ソノ鹽ノ消費ハ一ケ年ニ漸ク七斤ト云フモノテアツテソレ以上ノ消費ヲナスコトハ困難テアルハカリテナク現在テハコノ鹽ヲ買フコトカ出來タモノ多シト云フ狀況ニアル老百姓ノ窮シキ生活ハ一寸想像ニアマルモノカアル。

・肉ノ消費男子一年ヲ通シテ五斤、老百姓ハ明ケテモ暮レテモ薯ト黒味ノ麵ヤ雜炊テアツテ肉ヲ口ニスルコトハ平時ハ殆ト不可能ニシテ只正月、

端午、仲秋、冬至節ニ漸ク之ヲ味ヒ得ルト云フ有様テアルノテアル。

(二) 衣服費ト雜費

綿入レノ冬衣ヲ作レハソノママ三四年間ソレヲ用ヒ、洗濯出來タモノ故垢ニ汚レ油ニ塗レ破ワルレハツタハキヲナシ、終ニハツキハキカ主テアツテ衣ト云フモノノ跡形モ無シト云フ程ニナルノカ農民一般ノ有様テアツテ毎年衣服ヲ新調シ又ハ古衣ヲ購フト云フコト無ク三四年ニ漸ク一枚ヲツクルト云フノカ實情テアル。故ニ衣服費トシテノ支出ナトハ全年ヲ通シテ洋二元位ノモノト想ハレル。

衣服ハ又鋪蓋ノ用ヲナスモノテ、彼ラハ就寢ノトキニハ全裸体トナリ衣服ヲカケソノ上ニフトンヲカケルノヲ習慣トシテキル。

雜費トシテハ子供ノ生レタトキニ知人ニ送ル赤ク染メタ雞蛋、年糕、正月ノ拜年錢ヤ税金ナトアルガ全收入ニ對スル支出ノ比率ハ誠ニ微々タルモノテアル。

以上説明シタ通り陋屋ニ住ミ、極度ニ粗食ヲナシ、保健上最モ必要ナ食鹽スラ不足スル有様テ剩ヘ身ニツクルモノハ襤褸ユテ殆ント五ロヲ身ニツ

クルト云フ最モ下級ノ動物ニモ近い生活ヲシテキテモ尙ホ收支償ハスシテ
 苦シムト云フ狀況下ニアルモノデアル。

二十余年前漢口ニ於ケル富裕階級テ贅澤ナ生活ヲシテモ尙ホ

六十大洋過一年。ト云フ言カ用ヒラレテキタト云フカ二十余年後ノ老面

姓ニトシテハ洋六十元ハ約三ヶ年ノ生活カ出來ルノデアル。

右述セル食料品ヲ計算シテミルト左ノ通りニナル。値段ハ縣城ト田舎ト
 ハ相當差カアルノテ特ニ田舎ノ集市ノ値段ヲ以テ定メタ。

白薯	四二〇斤	百斤	五五仙	洋	二元三一仙
小麥	八〇斤	一斗	六五仙		三元九〇仙
穀子	一九五斤	(六新斗)	五八仙		八元一二仙
白薯片	一〇四斤	(四新斗)	百斤	一元四〇仙	一元四六仙
野菜	一〇〇斤		八〇仙		八〇仙
肉代					一元二〇仙
調味					一元〇〇仙
燃料					一元二〇仙

合計 洋 一九元九九仙

即チ成年男子ノ平均一ヶ月ノ食費ハ洋一元六七仙

燃料ハ主ニ柴草ヲ焚キ或ハ枯枝ヲ折ツテツレニ供シ。又老幼婦女子ハ石炭
 ノ粉末ヲ拾ヒ歩イテ燃料トスルノテ斯クヤスクアカルモノデアル。(右ノ
 ヤウニ六人ノ家庭ハ食費タケテ約洋八〇元ヲ要スルノデアル。)
 但シ田舎テ生活シ自分ノ作ツタモノ又ハソノ地テ求ムルモノニ都市ニ於ケ
 ル物價ニ比較スレハ最少一割方ヤスク物資ヲ得ルコトカ出來ルモノデア
 ル。白薯ハ縣城テハ百斤七五仙デアル。

(ホ) 農民ノ娛樂

切リツマタ生活。何モ自覺シテ切ツタテキルノテハナク。全ク已ムヲ
 得ナイ處ヨリ動物ニモ近い生活ヲシテキル彼等デアル。夜ニナツテモ灯一
 ツナイ暗イ室テ臥シツツ語ル。夏ニナレハ陋屋ハ暑クテホムリ得ルマニ
 戸外ニ出テ青天井ノ下ニホムル。
 灯ノ無い生活ヤカンテラノ生活ト云フモノハ文明人ハ鳥渡想像セラレヌ
 ツンナ生活ヲシテ只食ヘテ行クコト以外ニ何モ考ヘル余裕ノナイ彼等ニツ

イチツノ娛樂ヲ調ヘルト云フコトハ六ヶ敷シイ事テハアルカ。古來中國人
通有ノ三大快樂トシテ知ラルル賭。戲。茶。ニツイテ少シ考ヘテ見ルコト
ニスル。

賭博ハ今出來ル限リトメテキルノテコノタノシマハ余リ考ヘラレナイ。

戲ハ春秋二季廟會ノ戲棚ニ行ツテ見ルノテアル。日本ノ縁日ノヤウニ芝
居ヲ見ルト云フヨリモ。近郷近在カラ集ツテ來ル雜鬧ノ中テ物ヲ喰ヒ、物
ヲ購ヒツシテ芝居ヲ見ルト云フモノテアル。

小商人達ハ麵。餅子。五香猪肉。玩具。布。菓子。飴ナトノ露店ヲズラリ
ト並ヘテ老百姓ノ無ケナシノ金錢ヲ絞リトルノテアル。

老百姓ハ平素味ワコトノ出來ナイモノヲ。セメテコノ廟會テハ食ヘ。ツシ
テ村芝居ノアクトイ藝ニ。寮子大目ノ賞讃ノ聲ヲ役ケテ二三日間凡テノ苦
ヲ忘レテ殺風景ナ。日出而作。日入而息。ノ農村生活ニ大キナ潤ヒヲ得ル
ノテアル。

廟會ノ露店ニ並ヘテアル品々ヲミレハ。直チニ彼等ノ生活程度ノ如何ニ幼
稚ニシテ低級ナルカカ判ル。コシテモノニ三、三十支里ノ道ヲ遠シトセズ

シテ來ルノテ普通四日間連續スルカツノ間ニトノ位費スガヲ尋ネタ處、六
〇ト七〇仙但シ粉條子。卵。糧食ナトヲセツテ來テ賣ルタリニコノ位ノ金
錢ハアルト云フ。老百姓ノ欲ハ第一食フコト第二物ヲ買フコト。第三看戲
テアル。

ツマラヌ輪投ケニ銅子兒ヲトラレテキル老百姓モ却々多イ。

途上燒餅賣ノ小孩子ト語ル。(一五才) 何ヶ燒餅ヲウツタカト問ヘハ。
一一二個。一個二ヶ大子兒即チ四〇文テアルカラ計四串四百八十文約洋八
六仙。自分ノ處テ作ツタモノテ無ク、ウケテ來タモノテ一ヶ三二文即チ一
ケニツキ八文ノ利テアルカラ八九六文約洋一七仙強トナル。十五才ノ小孩
子ノ收入トシテハ可テアリ且ツ安イ食ヘモノカヨク賣レルコトカ判ル。

砂埃ニ塗レツツモ矢ハコノ廟會ニ出テ來ルコトハ彼ラノ一番タノシマ
テアルヲシイ。

ソノ他將棋。正月ノ打鞦韆。端午。仲秋。冬至節ナトハ村ノ單調無味ナ生
活ニウルホヒヲ與ヘル唯一ノモノテアル。私ニツイテ歩イテキル巡警ハ

待至成人娶妻後 有了能力不頼親

與妻日々以取樂 離開一日如一句

ト嘗イテクレタカ。妻トタノシク暮スヨリモ、先ツ食フコトカ先立ツモノ
テ、明ケテモ食フコト、暮シテモ食フコトニオハレテキルモノテソレ以外
ニハ何モナイノデアル。

食料ノ項追記

老百姓ハ食ヒ得ルモノハ草テモ木ノ芽テモ何テモトツテ食フモノテ、ナ
ズナ、ツメクサ、ハモトヨリ楡ノ花ナトハ樹上ニホツテ採リソノママ頰
ハリ且ツ籠ニトリタメテキル。
楡錢ト稱シ少シ脂肪分アルモノテ、コノ花ヲトルタメニ兒女ハモトヨリ纏
足シタ女マテカ樹上高クノホツテ採ツテキルノヲ各處テ見タカ全ク想像外
ノ狀景デアツタ。

(ハ)農民ノ教育狀況

教育ノ普及ハ却々困難ノ狀態デアルカ、幸ニモ定縣テハ文盲ヲ除キ知識
ヲ與ヘルト云フ平教會第一ノ方針ニヨツテ各村ニ必ス國民小學ヲ設ケ主ニ
平民學校畢業ノ先生ヲシテ農村子弟ノ教化ニツトメサセテ居ルタメ所謂讀

書一年乃至二年、又ハ只僅少ニ字ヲ少シ讀ミ書キ出來ルト云フ程度ノモノ
ハ漸次増加シツツアル。但シコレトテモ却々一般農村子弟ハ果スコト出來
ナイモノテ二百戸位ノ村ニ入りテ見テモ生徒ハ精々三〇人乃至四〇人位ノ
モノデアツテツノ數ハ誠ニ寡々タルモノデアル。
只多少テモ意ヲ強クスルコトハ、平教會ノ努力ニヨツテ學校ニ通フモノハ
相當規律アル生活ヲナシ居ルコトテ放課後家ニカエルニモ一列ニ並ビ無駄
話モセス黙々トシテ行ク處ヲ再々認メタカ假令三〇、四〇人ノ小數生徒テ
アルトハイヘ誠ニ喜フヘキ傾向デアル。然シ學校トハ云ハ村ニ在ルモノノ
設備ハ二間房乃至三間房ノモノ一室テ舊式ノ机ヲ並ヘ香讀程度ノモノデア
ル。

十六 家畜及肥料

農家ニトツテ耕牛ハ却々重要ナ役目ヲ果シテキル。
耕作ハモトヨリ肥料、收穫物ノ運搬、脱穀及製粉ノタメニ碾子、磨ツマハ
シ灌漑井戸ノ水車ヲマワスナトモ牛カモツトモヨクツトムルモノデアル。
鈍重テハアルカ力アリ、倦マスニ働ク點ニ於テハ驟子ナトノ遠ク及ハス處

テアル。

驢ハ体軀ハ小サイカ百二三十斤ノ荷ヲ負ツテ一日百支里ノ道ヲ行キ、畑ニ出テハ鋤ヲ曳キ降土器ヲ曳クナト驢子ニモ母リ、此點牛ト驢トハ農家ニトツテハ缺クコトノ出來ナイモノテ牲口中ノ主体トナルモノテアル。牛驢トモ飼養ハ簡單テ馬ヲ飼フニ比スレハ半分以下ノ手數テ出來ルト云フ便利ナモノテアリ且ツ從順テヨク働クノテ農耕運搬トモニ牛ト驢トハ常ニ一驢ニ使用セララルモノテ、鈍重ナ牛ト割合ニ敏ナ驢トヲ同時ニ使フト云フ支那特有ノ牲口ノ御シ方各地テ見ラルルノテアル。外人用ノ肉牛缺乏ニヨツテコレヲ耕牛ノ屠殺モ漸ク増加スルモノテコノマテ行クコトハ農村荒廢ヲ一入深クスル結果トナルノテ政府ハ夙ニ耕牛ノ屠殺ヲ禁シ八才ヲ過キタモノ或ハ弱イモノノ外ハ許サズコトニシテキルノテアル。

價格耕牛一頭洋二八元乃至洋三五元 驢モ略々同値テアル。

騾子ハ洋三〇元乃至洋四〇元、馬ハ洋四五元ヨリ五〇元テアル。

但シ定縣テハ農耕及運搬用ノ牲口ハ誠ニ尠ク山東地方ニ比較スレハ寥々タル

モノカアルカ右ハ民國十七年ノ内亂ノ折算除ニ拉シ去ラレタコトニ原因スルト云ハレテキル。

耕田ニ施ス肥料ハ殆ト全部堆肥テアル。堆肥ハトウシテ作ルカ。ト云フニ猪小屋テ作ルモノテアル。猪小屋ハ普通ニケニ仕切り一ヶ所ハ猪ノ息ト所謂猪棚テ一ハソノ遊マ猪圈テコレハ必ス便所トトナリアハセテキル。コノ猪圈ハ一間半四方テ深サ五呎一六呎テ必ス煉瓦(磚)テ圍ツテキル。

便所ハコノ猪圈ニ通シテキルタメ用便ノトキハココニ落下シソノ場合猪カ直チニ處分スルモノテアル。ココニハ時折流シ許ノ汚水ヤ菜、骨ソノ他何テモカマハスニ投シテキルタメ常ニ四一五寸ノ水溜リトナツテキル。ソノ中ヲ猪ハブクブク泡立テテ食ヲ漁ルモノテコノ點猪ノ生存ノ如何ニ強イカヲ知ルコトカ出來ル。ココニハ猪ハ勿論尿モシ糞モスル、更ニ此ノ中ニ塵芥及土、馬糞ナトヲ投スルモノテソノ上ヲ猪カ歩キマハルノテ自然ニ人糞、猪糞、ソノ他混合ノ堆肥カ出來ルノテアル。

猪棚ト猪圈トハ必ス一呎半巾ノ急ナ階段ヲツケテ上リ下リノ出來ルヤウニシテアル。猪ハ猪圈ニテ漁リ食ヒ腹カ滿ツレハ則チ猪棚ニホツテネムルモノテココ丈ハ屋根ヲ以テ覆ツテキル。普通ニ頭テアルカ三頭四頭ト云フ處モア

ル。

春一度コノ堆肥ヲ掘リ出シテ棉花及穀子、高粮ナリノ耕田ニ施肥シ一年ニ四五回掘リ出スモノテアル。

コノ堆肥一彼ラハ糞土ト稱ストカ農家唯一ノ肥料テアツテ、農家ノミテナク一般商家テモ便所ノ傍ニコレヲツクリ猪ヲ飼ヒ堆肥ヲツクリ、一面人糞ノ處分ヲナシ一面堆肥ヲツクリ施肥ノ季節ニ農家ニ供給スルモノテ之カタメ南支地方ノヤウニ街頭ヲウロツク猪ヲ見ルコトハ絶對ニ不可能テアル。

二頭ノ猪テ一年ニ得ル糞土ハ四十大車(二頭ノ牲口テ曳クモノ)テ一年ニ四五回掘リカエスモノテアル。此糞土ヲ一般家庭テ農家ニ賣ルニハ年、洋二〇元テアルト云マカラ一阡斤ノ糞土ハ五一仙七厘ニ相當スルモノテアル。一畝ニ施肥スル量ニ五〇〇斤ヲ以テ普通トスルト云フニツキ肥料代ハ洋一元二九仙三厘ニアタル。

肉代トコノ糞土ノ收入カアルノテ農家ハ勿論一般ニ副業トシテ必スコレヲ飼フ。洋一元ニ漸ク一〇斤乃至一二斤ト云フ高價ナ化學肥料ヲ貧シキ農家テ施サストモ安價テアリツシテ相當有利ナノ様ナ堆肥カアルノテ「ブラナモンド」ノ廣告宣傳モ大シタ效果ハナイト思フ。

因ニ一間半四方、即チ九呎又九呎深サ五呎ノ糞土ノ体積ヲ計算スルト四〇五立方呎トナリ之ヲ石數ニ換算スレハ六四石四斗六升トナル。水ノ重サト同シク一升ヲ四八〇忽即チ三斤トシテ計算スレハ、一九三三八斤トナルニツキ、猪圈ニ二回堆肥ヲツクレハ四〇大車ノ糞土トナルモノテアル。

十七 農民ノ副業

定縣ニ於ケル農家ノ副業トシテ見通カスコトノ出來ヨモノハ土布テアツテコレト云フ織布工廠ナク皆家庭ノ手工業トシテ出シテキルノテアルカ。ソノ年産一二〇余万元ニホリ大部分ヲ張家口ニ仕向ケテキルヲ見レハ内外蒙古ニ捌クモノト思ハレル。

但シコレラハ貧農階級テハミラレヌノテ詳記スルコトヲ避ケル。
家畜トシテハ猪、羊ナリアルカ將來コトニ着目スヘキモノハ平教會テ實行中ノ波支猪 Poland China ノ改良ニシテ波支猪ト定縣在來ノ牝猪トノ交配ニヨツテソノ改良ヲ計ツテキルモノテ、漸次農村ニコノ猪ヲ分ケテ居リ成育モ早ク肉量モ相當向上シテキルト云ハレテキル。

鶏ハレグホン種ニ改良ヲ加ヘントノ計畫ヲ平教會テハ樹テテキルカマダ見ルヘキモノカナイ。在來ノモノテハ産卵數カ尠少テ副業トシテ著シイ成績ヲアケ得ナイ狀況デアルカ。農家ノ副業トシテノ養鶏ハ多イ。猪ハ堆肥ヲツクル點ヨリ見テモ農家トハ切リハナスコトハ出來ナイ。

(十八) 總金ニ就テ

中國ノ税金徵收ハ各縣ニヨツテ非常ニ異リツノ狀況ハ紛亂ノ極ト云フ言ニツキテキル。ソノ紛亂ノ中ニアル徵稅ニツイテ確實ノ數ヲ知ルト云フコトハ誠ニ困難デアルノテ平教會ノ李景漢氏ノ調査發表ニカカル表ヲカリテ説明スルコトニスル。但シソノ稅額ハ大部分ハ民國廿二年ノ數字ニシテ中ニハ廿一年ノ數字ヲモ含ム。

(イ) 國稅中、鹽稅ヲ最多トスル。定縣テ廿一年中ニ消費シタル鹽ハ、三七七万七千斤ニシテ規定稅率ハ每百斤洋四元ノ徵收ニツキツノ額ハ洋一五万一千余元トナル。次ハ關稅收入ニシテ廿二年中ニ於ケル輸入各種洋貨數額ト價格トヲ以テ推算スルニツノ稅額ハ洋一三万六千九百餘元トナリ統稅ハ棉紗、捲菸、礦

稅、火柴等ノ稅ヲ含ムモノニテ廿二年度ノ合計ハ洋五万九千九百餘元、此外ニ菸酒牌照稅洋一万余元、印花稅洋五千餘元、菸酒稅二千七百餘元ニシテ全縣一年負擔ノ各種國稅總計ハ洋三六万五千餘元トナル 附表第一

類	別	款	額
鹽 關 統	稅		151,080.-
	稅		136,000.-
	稅		59,900.-
	棉紗		31,700.-
	捲菸		11,500.-
	礦稅		9,400.-
	火柴		7,300.-
	菸酒牌照稅		10,500.-
	印花稅		5,370.-
	菸酒稅		2,700.-
總	計		365,550.-

省稅中田賦及附加差稅ヲ最多トスル。廿一年ノ定縣ノ征地一五三五二〇〇畝、每一畝ノ地租稅七仙一厘八毛トシテ正賦一〇万八千八百餘元、附

類 別	款 額
田賦帶征地方捐 款附稅	\$79,187-
牙 稅 附 捐	28,863-
花生木植 捐	15,894-
牲畜花稅附捐	11,310-
屠宰稅附 捐	6,800-
田 房 中 仰	5,936-
各 種 雜 捐	1,987-
營業稅附加 保衛團捐	780-
總 計	\$148,757-

附表第三

縣籍中田賦帶征地方用款附捐ヲ最多トシ每一畝五仙一厘五毛テ洋七万九千余元、次ハ牙稅附捐二万八千八百余元、花生、樹木、新舊車輛及油餅等ノ集市、取引稅一万五千八百余元、牲畜及棉花取引ノ附捐一万一千余元、屠宰稅ノ附捐六千八百元、田房中仰三千九百余元了、此外ニ狀紙附加捐、官產附加捐、人力車、自轉車捐、戲捐等ヲ包括スル雜捐一万九千余元及營業稅附加ノ保衛團捐七百余元ニテ全年ノ負擔ハ合計洋一四万八千余元トナ

加差僅一阡四百余元テ計一万余元、次ハ河北省鹽稅附加捐テアルカ廿一年ノ規定ヲミルニ每百斤洋五十仙故計一万八千八百余元、此外牲畜棉花ノ集市取引ノ稅一万六千六百余元、田地房產ノ買賣ノ契稅一万六千余元、貨物取引ノ八行牙稅一万五千五百余元、各商舖カラノ營業稅八千九百余元、屠宰稅八千余元テ全年ノ省稅負擔ハ合計洋一九万四千余元トナル。

附表第二

類 別	款 額
田 賦 及 差	\$110,233-
鹽 款 附 加 捐	18,885-
牲 畜 花 稅	10,625-
契 稅 及 附 收	16,158-
牙稅及帖照費	15,597-
營 業 稅	8,938-
屠 宰 稅	8,100-
總 計	\$194,530-

以上三種類ノ税金ノ外ニ尙三種ノ捐款カアル。其中最モ多イモノハ各村ニ於テ隨時ニ取立テルモノテ廿二年ニハ洋一八万六千五百余元。次ハ蘆鹽附加軍事産銷額テ廿一年ノ規定ハ每百斤鹽稅附征洋三元六五仙計一三万七千八百六〇元、此外ニ契稅附收各項六千二百余元テソノ合計ハ洋三三万余元テアル。

故ニ定縣稅捐一年間ノ合計ハ洋一〇三万九千余元テソノ中、國稅ハ三五% 省稅ハ一九%、縣捐ハ一四%其他ノ捐稅三二%ト云フ狀況テアル。全年負擔ノ各種稅額ト其百分比

附表第四

類別	款額	百分比
國稅	386,560-	35.17
省稅	194,530-	18.71
縣地方捐	148,707-	14.31
其他捐款	330,596-	31.81
總計	1,059,383-	100.00

定縣ノ人口約四十万人ヲ以テ計算スレハ則チ平均每人老幼ヲ問ハス一年間ノ負擔洋二元六十仙トナリ一戸當リ洋十五元トナル。

以上ハ勿論公然ノ徵稅額テアツテ老百姓ノ實際ニ出シタ所ノ數テハナク、實際ノ數字ハ請負(承包)ノ數ヲ超過シテキルシ、其他徵稅機關ノ中間搾取ヲ考ヘレハ老百姓實際ノ負擔ハ更ニコレ以上ノモノトナルモノテアル。但シ右ノ稅ハ直接、間接及行爲稅トナツテ居ル爲メ結局ニ於テハ老百姓ノ負擔トナルモ、間接稅ナトハ直接ニハ痛痒ヲ感シナイモノテアル。右ノ中直接稅ハ茶酒牌照稅(國稅)田賦及差使。牙稅(省稅)田賦附加地方經費。牙糧(縣捐)タケテアツテ他ハ間接及行爲稅テアル。徵稅ノ方法ハ田賦及差使、契稅ナトノヤウニ縣政府第二科ニテ直接徵收シテキルノモアルカ大部分ハマダ請負制テアル。鹽稅ハ財政部鹽務局ノ方ニテ直接徵稅所ヲ設ケテ收納シテキル。

十九 農作物ノ概況

農作物ハ穀子ヲ主トシ麥コソニツキ。白薯。豆。高糧。棉花ナトソノ

重要ナモノトスル。小麦ハ十月末乃至十一月ニ播種シ翌年舊曆四月末ニ收穫シ大麥ハ舊曆二月ハシメニ播種シテ舊ノ五月末ニトリ入レルモノデアリ。豆ハ主ニ高糧ヤ玉蜀黍ノ畑ニ間作スルモノデアリ。白薯ハ到ル處ヨリ産スル。

白薯ハ農民ノ主食品ニシテ穀子、豆、高糧、麥ナトハコシニ次ク食品デアル。元來華北一帶ハ春降雨ノ少ナイ爲メ旱災ヲウケヤスタ從ツテ作物ノ産量僅カテアツタカ。最近十余年間ニ井戸ニヨル灌溉ニヨツテ小麦ノ産額ハ非常ニ増加シテ來タト云ハレテキル。落花生ハ城東ト城西ノ砂地ヲ主トスル。

農作物ニ最モ必要ナル降雨量ハコトニ察ニ於テ少ナク、又往々ニシテ一滴ノ降雨モ無イ年モアリ本年モ亦ソノ例ニモレヌ。老百姓ハ井戸水ヲ灌溉シツツモ降雨ノ早イノヲ祈ルト云フ有様デアツタ。

小麦ハ降雨全然ナシ爲メ收穫ハ非常ニ惡イモノト思ハレル。又作物コトニ關係ノ大イニアル降霜季ニツイテ調ヘタ處ニヨレハ秋ノ早霜ハ寒露節(陽曆十月十二日頃)前後デアリ、ソレヨリモ早イトキ

モアルカ。大体ニ於テコノ前後デアリ、春ノ晚霜ハ清明節前後テ本年ハ二月三十一日カ最後ノ降霜テ可成リノモノヲ認メタカ。ソレ以後四月九日ニ

定縣出立マテハ降霜ヲ見ナカツタ。故ニ定縣ニ於ケル作物ノ生長期ト云フモノハ春ノ晚霜ヨリ秋ノ早霜マテノ

間即チ清明ヨリ寒露節迄ノ六ヶ月間ト見ラルル。コノ六ヶ月間コトニ春ノ雨量サエ順調ニアリ特ニ霪雨(四月ノ中旬)前後

ニ降雨ヲ見レハ麥作ハモトヨリ棉花、穀子、高糧ノ播種ニモ便利デアルカ雨量乏シク旱害ノ受ケヤスイノハ誠ニ困ツタモノデアル。

農作物ノ收量ニツイテ見ルニ各地ノ狀況。即チ水地ト旱地及第一次作ト第二次作トニヨツテ、ソノ收穫ニ大イニ相違ヲ示スモノデアル。例ハハ穀

子ハ好作ノ年ニハ第一次作ニハ水地ニテ一四斗旱地テ九斗ノ收穫出來ルカモシ小麦ヲ第一次作トシテソノ收穫後ニ穀子ヲ第二次作トシタ場合ニハ三

割五分乃至四割ノ減收トナル狀況デアル。各地方テ直接老百姓ニ問合セタ處ヲ綜合スレハソノ收穫ハ大様左表ノ通り

トナル。即チ一畝地ノ收穫ハ

品目	西部	北部	東部 (高頭村)	南部
小麦	五斗一六斗	六斗一七斗	七斗一八斗	三斗一四斗
穀子	七斗一八斗	八斗一九斗	九斗	五斗一六斗
高粮	七斗	一擔	一擔二	八斗一擔
棉花	七〇斤(皮棉)	八〇一九〇斤	七〇一八〇斤	
白薯	三〇〇〇斤	三三〇〇斤	二八〇〇斤	三〇〇〇斤
玉米		六斗	七斗	
ソバ	六斗			七斗

註一擔八十斗テアル。右ハ總テ老斗計算テアル。
 明月店テ老百姓ニタツネダトキニハ一七畝ヲ有スルモノノ談ニ昨年ノ收穫
 ハ悪ク小麦一畝地二斗ナリト云ツテキタ。
 品種ノ改良ヲセス連年退化シツツアルモノテ、小麦ノ小粒ナノニハ全ク驚
 ク。收穫ノ少ナイノモ道理テアル。

收量ヲ述ヘタ序ニ度量衡ニツイテ説明スル。
 日本テハメイトル法採用ニヨツテツノ新舊換算テ一般人ハ苦シム。同様ニ
 中國モコレカタダ幾多ノ困難カアリ。サナクモ數ノ觀念ノナイ彼等トテ
 老百姓ノ云フ數ニハ何ラ信スヘキ處カナイ。
 例ヘハ一畝ヨリ小麦何斗トシカトノ問ヒニ對シテモ彼等ノ云フ數ト糧食
 店トテ用フル數トハ異ル。老百姓ノ云フノハ從來ノ斗テ即チ大斗乃至ハ
 老斗ト稱シ他ハ新斗或ハ小斗テ中ニハ新舊ヲ混同スル。
 斤數モ亦然リテアル。故ニ老百姓ニ問ヒ銀行倉庫ニ問ヒ且又糧食店ニ問ヒ
 合セテ左ノ通りニ大略定メタ。即チ

品目	新斗老秤	價格	新斗新秤	價格	老斗老秤
小麦	一三斤	每斗元 六五〇	一五斤	元 六五	一九斤
高粱	一二斤	三九	一三斤半	四〇	一七斤
玉米	一三斤	四一	一四斤半	三八	一九斤
芝麻	一〇斤	八二	一三斤半		一四斤

穀子	一四斤	六〇	一五斤	五八	二〇斤
黑豆	一三斤	六二	一五斤	四八	一九斤
綠豆	一四斤	六三		六一	二〇斤

即チ新斗(小斗)ヲ老秤ニテ量ツタ一斗ノ斤數ヲ出シ且ツ新斗ヲ新秤テ最
ツタ一斗ノ斤數。及老斗ヲ老秤テ量ツタ數ヲ出シテ老秤ト新秤。老斗ト新
斗トノ比較ヲ示シタモノテ表中ノ價格上段ノモノハ明月店金城銀行倉庫ノ
糧食貸款ノトキノ標準値テ下ノモノハ定縣城ニ於ケル糧食店テ問合ハシタ
値段デアル。

因ニ東亭公安分局ニテ同局ニ納入中ノ檢定印押捺ノ新斗ヲ見タカツレニヨ
ルト新斗ノ内法ハ左ノ通り

八寸×八寸×五寸〇三五分二立方寸

テ日本尺ニ換算スルト約四四〇立方寸テ。我カ國ノ一升杓ノ体積六四八二
七立方分ニヨレハ約六升八合ニ當ル。

老秤ハ一六〇匁一斤。新秤ハ五〇〇瓦故一三三匁強テアルカ一匁ハ一四
〇匁ヲ一斤ト云フ。タカラ收ムルトキニハ一四〇匁一斤テトリ出ストキニ
ハ五〇〇匁一斤トシ差額七八匁ヲ益スルモノデアラシイ。

義倉ト云ヒ郷倉ト云フモノノ設備ニツイテハ民國初年ノ文獻ニハ相當出
テ來テキルカ現在定縣ニハコノ設備カナイ。只翟城テ空ニナツタコノ義倉
ヲ一ツタケ見タカ土民ノ語ル處ニヨレハコノ義倉ハ水旱災ソノ他ノ天災ニ
備エタモノテ耕地五〇畝以上所有ノ所謂富農階級ヨリ收穫ノ折規定量タケ
ノ糧食ヲ漏出サセテ貯エ致年經テモ義倉ヲ開ク必要ノナイトキ(天災ノナ
イ場合)ニハソノ變質スルノヲ防クタメニ賣出シテソノ金錢ヲ貯エテオイ
タモノデアアル。

然シ民國十七年ノ兵亂ノ際ニ完全ニ掠奪セラレテ一空ニ歸シテシマヒ、ツ
レ以來コノ義倉ノ設備ハ全ク有名無實トナツテシマツタト云フ。
要之ニ農村疲弊ノ結果ソレ丈ノ余裕カナクナツテシマツタノデアアル。

二十農民移動ノ原因並ニ狀況

税ノ負擔多クシテ男女老幼ノ別ナク一人ノ負擔洋二元六十仙。一戸當リ

洋一五元ト云フ苛斂誅求サテ、ソシテナクトモ困窮ニシテ破産ニ瀕シテキル。農村ノ狀況ハ益々窮迫シ他縣ニ比較スレハソノ負擔相當ニ輕ク且ツ縣内ノ治安ヨク保タレテキルト云ハルル所謂清末以來ノ模範縣ニ於テ、生活ノ必需品テアル鹽ヲ求メントシテ之ヲ購ヒ得ヌモノカ多クアル狀態デア。鹽ノ小賣値段一斤洋十仙デア。ルノニソノ税金ハ洋八仙一厘五毛ト云フモノテ即チ鹽ノ原價運賃外テ一斤僅カニ洋一仙八厘五毛ト云フモノデア。ル百斤洋十元ノ鹽ハソノ八一五%迄税金トシテ一般民ハ負ハサレテキルノデア。ル。

斯様ナ狀況ノ許ニアルノテ年々破産シテソノ所有家屋ハモトヨリ耕地ヲ債權者ニ没收セラルルモノ逐年非常ナ勢テ増加シツツアリ、一昨年ニ比フレハ昨年昨年ニ比較スレハ本年ト云フ有様テソノ倒産ノ數ハ多イトキハ、前年ノ五六倍ヨリ十倍ニモ達スルト云フ。平教會ノ社會狀況調査ニ專心シテキル張氏ノ語ル處ニヨレハ、コレヲ破産ノ數ハ民國二十年ニハ五一戸デアツタモノカ翌廿一年ニハ五倍ノ二五六戸トナリ廿二年ニハ更ニ非常ナ増加ヲ示シ三八八九戸ト云フ狀況勢ニナツテキルト云フ。

倒産ノ勢ノ旺シナルコト、以テ思フ可シテアル。

倒産ノ原因ニツイテ調ヘテ見ルニ

- (イ) 永年ノ借債ニヨルモノ 四二%
- (ロ) 借債シテ商ヒラシテ失敗シタモノ 一九%
- (ハ) 生産尠少ナルニ反シ消費過大ノ結果 一九%
- (ニ) 借債シテ耕地ヲカガテ失敗シタモノ 一〇%
- (ホ) 婚葬費トシテノ負債 四%
- (ヘ) 其他 六%

ト云フモノテソレモ洋百元内外テ倒産スルモノ割合ニ多クテ全數ノ三五%位ヲ占メ洋二百一三百元ノモノ一三%、洋三百一四百元カ一五%、洋四百一五百元カ一五%テ洋一阡元以上ノ負債ニヨツテ倒産スルモノハ極ク稀デア。ル。

左ニ少シク農村ニ於ケル搾取ノ最モ甚クシイ高利貸ノ狀況ニツイテ調ヘテ見ル。

中國ノ金融機關ノ中、高利貸ハ相當ノ力ヲ有スルモノテ、錢舖、或ハソノ地ノ豪農又ハ質屋（當舖）ニヨツテ行ハルモノテ、コノ機關ハ却々農民ヲ搾取シテ居ルモノテアル。

貸借ノ方法ハ地方ノ習慣其他ニヨツテ異リ且ツソノ名稱モ亦異ルカ、一、二ノ實例ヲ舉クレハ「九出十三歸」「七出十二歸」「小押」ナトテアツテソノ他ニ「出門五分」ト云フ言葉ハ高利貸ノ普通ノ事（習慣）トシテ特ニ不思議ニモ思ハレヌ狀況ニアルモノテアル。

老百姓カ豪農ソノ他ヨリ金錢ヲカリルニ、洋十元カリテソノ規定ハ多クハ六ヶ月ヲ期限トシ毎月洋二元ヲ償還スルヲ普通トスル。而シテ借入ノ契約ヲ取りカハシ相當ノ擔保物ヲ提供シ現金ヲ受クルトキニ先ツ一ヶ月分ノ償還トシテ洋二元ヲ差引カレ、仲介人ハ手数料トシテソノ一割即チ洋一元ヲトルノテ實際老百姓ノ手ニ入ルモノハ僅カニ洋七元ニ過キヌ。ソレニモ不拘償還ハ洋十二元ヲ必要トスルカ爲メニ、洋七元ヲカリテ利子洋五元ヲ承認シタト云フ結果トナルモノテアル。即チ借用證書面ノ利子ハ六ヶ月ニテ洋二元即チ洋十元ニ對スル二割故月利三分三厘三毛テアルカ。結果ヨリ之

ヲミレハ六ヶ月ニテ七割一分四厘トナリ月利一割一分九厘ト云フモノテ所謂「出門五分」ノ倍以上ノ高利トナルモノテアル。

「小押」ト云フ金貸ノ方法ハ期限ヲ一ヶ月トシ本金洋一元ニシテ十日毎ニ利子八分トシ金錢受授ノ折ニ豫メ十日分ノ利子ヲ差引カルモノテアルコノ方法ヲ一名「死押」トモ稱シテキルカ利子ハ結局一ヶ月テ二割六分余ト云フ高利ニナルモノテアル。

コノ他田地ヲ擔保ニシテノ融通ナトハコレ以上ノ搾取ヲシテキルノテアル然シ無知ナ一般老百姓ハ狡猾極マルコレラ高利貸ノ搾取ノ方法ヲ知ラス借用證書面ハ月利二分五厘乃至三分五厘トシテキルカ前述ノヤウナ手段方法ニヨツテ結局ハ月利一割乃至二割六分ナトト云フ鳥渡想像モ出來ヌ利子ヲトラレテ居ルモノテアル。

明月店テ老百姓及小商人カ私ノマハリニ集ツテ來タノヲ幸ヒ、高利貸ノ有無ヲ質シタ處皆知ラヌト云フ。ソコテ中國、金城銀行ノ利子ノ低イノヲ説明シ從來ノ金貸シノ利子ノ高イノヲ説明シテモ尙ホ判ラヌ。

テハ金ヲカリルニ如何ニスルカト問ヘハ三分ノ利子ヲ拂フト云フモノアリ

三分五厘ト云フモノカアルト云フ有様テアル。
ソコテ月二分五厘乃至三分五厘ナトト云フ利子ハ高利テハナイカト云フト
只、是、是、是ト云フ。

ツマル處金ヲカリルニハ三分乃至三分五厘、五分ノ利子ヲ拂フコトハ、普
通ノ事テアツテ何ラ高利テモナイト永イ間ノ習慣テ心得テキル爲メテアル
斯様ナ狀況下ニアルノテ本金ノ償還不可能トナルハ勿論、利子ノ支拂ヒ
モ出來スシテ利ニ利カ生ミ累ツテ終ニハ家屋田畑迄モ没收セラルルヤウニ
ナルノニモ不拘嵩ツレヲ不思議トモ思ツテキナイノテアル。

無知ト云フヨリ外ニ適當ノ言葉ヲ知ラナイ次第テアル。

公安局長ト面會シタ折ニ、法律テ月利二分ヲ超ユルコトヲ禁シテキルカ
ラツレ以上ノ高利ハ絶對ニナイト斷言シタカ、コレラノ事實ハ何トイツテ
モ蔽ヒカクスコトハ出來ヌモノテアル。

定縣全体ノ農家約五五〇〇戸トシテツノ五〇一五五%ハ皆借債ヲ有シ
テ居リ平均洋七〇元ヨリ洋一二〇元見當テアルト云フ。

天災人災ニツイテ見ルニツノ最モ被害ノ大キナモノハ水災デアツテ毎年

唐河、沙河ツノ外ノ汎濫ニヨツテ耕地ヲ掩没シ家屋ヲ流スモノテツノ中最モ
大害ヲウケタノハ民國十四、十五年ノ水害テ(十四年ノ當時私ハ徒步旅行ノ
途次テ已ムナク平漢鐵道ニ沿ウテ北上シタノテツノ洪水ニ掩没シタ狀況ヲ親
シク見タ)ツノ他輕微ナモノハ毎年クリカエサレテキルノデアツテ、昨年モ

沙河ハ大イニ汎濫シ李親顧ハ牆外マテ浸水シ約一キロ半ニ及ンタト云フ。
旱災ハ民國九年ノ華北一帶ニ亘ルモノカ最モ被害甚大テ、ツノ後ハ井戸ヲ

ウカツコトノ獎勵ニヨツテコノ旱害ハ相當緩和セラレテキル。
雹災、霜災、蝗虫災等ノ局部的ノ被害ハ殆ト毎年アリ、ペスト、赤痢、コレ

ラナトノ傳染病ナトモアリ、天災ノ至ラサルナシト云フ狀況テアル。
人災トシテ見ルヘキモノハ民國十六年ノ奉晉戰爭、同十七年ノ北伐革命軍
ト安國軍トノ戰爭ノ余波ヲウケテ定縣ハ非常ナ掠奪ニ遭ヒツノ被害ハ誠ニ甚
大デアツタ。

二十一 出稼移民ノ流出狀況

前述ノ通り税金ノ負擔重ク收歛ニ疲レ、高利貸ノ狡猾極マル搾取ニ苦シミ
カテテ加ヘテ連年ニ亘ル天災及人災ニヨツテ破産スルモノ多ク各村ニ入ツテ

聞クニ必ス三四戸ノ倒産者ヲ見ル。
コレラ倒産者及貧農ノ行衛ヲ調ヘテ見ルト、ソノ儘雇農ニナルモノ他郷ニ出
テ生活ヲ謀ルモノ又ハソノママ乞食ニナツテ路傍ニ食ヲ求ムルモノ或ハ血氣
ナ若者ハ募兵ニ應シテ兵トナルモノ等々テアルカ、ソノ中テ他郷ニ出ルモノ最
最モ多イ狀況テアル。

他郷ニ出ルモノノ大部分ハ滿洲ニ出稼キスルモノテ民國廿二年ニハ五千人
ヲ算シタト云フ。省内各地及省外ニ赴クモノハソノ半數二千人七百八人位テア
ルト云フ。廿二年ノ離村出外者ハ七千八百八十三人テアル。

平教會ノ調査ニヨレハ民國廿三年一月ヨリ三月迄ニ滿洲及ソノ他ノ各地ニ
出タ出稼人ノ數ハ一五〇八四名テソノ中一、三三八人ノ行先地ハ親戚ソノ他ノ
調ヘニヨツテ判然トシテキルト云フ。

即チ一、三三八人中ノ大多數ハ滿洲國行キテ極ク少數カ省内及省外各地行キテ
アル。大略左ノ通り

奉天省	四七六八	三五五八%
吉林省	二七三〇	二〇四〇%

黑龍江省	六七八	五〇一%
熱河省	三八八	三三四%
河北ノ各地	二四一	一八〇一%
山西省	六七	五〇一%
察哈爾	一一三	八五〇%
綏遠	六三	四六五%
其他	六三	一〇〇%
合計	一、三三八人	

右ノ通り滿洲國行カ斷然過半數ヲ占メテキル。

黑龍江及熱河省トアルハ中國カ滿洲國ヲ承認シテキナイノテ已ムヲ得ナイ。
省内テノ出稼キ地ハ、北載河、唐山、井陘、石家莊、保定及平津ノ地テアル
他郷ニ出テ生活ヲ謀ルモノノ年齡ヲ一、三三八人ニツイテ見ルニ

二〇才	二四〇才	二三六八人	一七六三%
二五才	二九〇才	二〇三	一五二〇%
三〇才	三四〇才	二六六	一九八八%

三五才、五〇才

五二七、

三九三九%

其他

一〇六、

六九〇%

合計

三三八人

一〇〇%

他郷ニ出ルモノノ原來ノ職業ハ勿論老百姓カ主テ、二〇〇人木匠瓦匠六〇人、ソノ他テ他郷ニテノ就職ハ苦力八九七、農、一八六、行商人四五、兵一〇〇。鐵道工夫五〇。ソノ外ト云フ狀況ニアルモノテ、無資力テ謀生ヲナシコト故苦力及雇傭ニナルモノノ多イノハ理ノ當然テアル。

右ニ述ベタヤウニ農民ノ離村シテ滿洲國ソノ他ノ地テ謀生ヲナスモノ漸増ノ狀況ニアルカツノ率ハ現在ノ處全縣人口ニ對シ三七七%ニアタル。

老百姓ハ所有ノ耕地、房屋ヲ擔保ニ高利ヲ借リテ旅費トナシ、或ハコレヲ賣却シテ調達スルモノテ利子ハ前述高利貸ノ項ヲ参照セラレ度シ。償還期限ハ滿洲行キノモノハ十ヶ月乃至一年ヲ以テ普通トスル。

サテコレヲ出稼人ノ離村シテ他郷ニ出テ謀生ノ道ヲ講ズルコトノ農村ニ及ボス影響ニツイテ見ルニ却々大キナモノカアル。殊ニ滿洲國ニ出稼スルモノノ大部分ハ晚秋又ハ舊正年關ニハ一旦歸郷スルモノ故ソノトキニハ在郷ノモ

ノニ非常ナ影響ヲ與ヘルコトトナルモノテアル。即チ彼ノ地ノ就業狀況、工資收入、治安狀況等ニツイテ詳シイ説明宣傳ヲナスハカガリテナク、現ニ尠クトモ洋三四十元ノ現金ヲ携帶シテ居ル事實ヨリシテ村ニ在住スルモノノ羨望ノ的トナリ、同時ニ故里ニ於ケル收入、治安狀況等ノ比較トナリ、其生活程度ノ相違ノ甚タシイノヲ知り來春ニハ自分モ彼ノ地ニ渡ルト云フ決意ヲナス動機ヲ與ヘルコトトナルモノテアル。

要之ニ滿洲ヨリ歸ツテ來ル彼ラノ宣傳ニヨツテ郷里ニ於ケル窮乏ノ生活ヲ捨テテ村ヲハナレ謀生ノ道ヲ求メルト云フコトニナルモノテ斯様ナ趨勢ハ尠クトモ農村カ豊稔ニシテ余裕カ出來且ツ治安狀態カ立派ニ維持出來ル迄ハ逐年増加スルモノテアルト思ハレル。

滿洲行ハ舊ノ二月末ニ殆ト出テシマウト云フ、ソノ致ハ定縣ヲハシメ行唐曲陽、新樂縣一圓テ約二万ヲ超スト云フ。

目下復元公司ノ募集ニヨル粵漢鐵道ノ工事ニ從事スル者多ク南下スルト云フ老百姓相當數アリ十日毎ニ三百名程ツツ輸送シテキル。

李親顧ニ於テ老百姓達ニトリカコイレテカラ語ツタトキニ滿洲ニ數年キタ

ト云フ二人カラツキノヤウナコトヲ聞イタ。
本年コノ村カラ滿洲ニ行クト云ツテ村ヲ出タモノカ七十余人アツタカソノ
中辰ツテ來タモノカ六人アル。ソレハ山海關ヨリ朝鮮ニ行カウトシタ處見セ
金百元ヲ必要トスルトノ事テ已ムナク辰ツテ來タノタト云フ。
不幸ニシテソノ辰ツテ來タモノハ一人モ其處ニ居合ハサナカツタカ會テ滿洲
ニキタト云フ二人ハ、本年ハ山海關ノ賣票カ洋一元ニナリ寫真カ必要トナツ
タサウダカ事實テアルカトノ問ヒ合セヲナシタノテ、票ヲ賣ルノテハナク滿
洲國ノ法令ニヨツテ査照スルモノテ寫真料トモ洋一元テアル。天津テ大東公
司ニ申込メハ直チニ手配シテクレル旨ヲ話シ且ツ奉天、新京ニハ無料宿泊所
マテ設ケテ宿泊、就職ノ便宜マテ計ル旨ヲ話シテオイタ。
彼ラ二人ハ奉天テ瓦匠ヲシテ數年キタカ眼ヲ患ツタノテ昨年歸郷シタト
一人ハ四八才 他ハ四二才
弟夫婦ハ新京（彼ハハシメ長春ト云ヒ新京ト云ヒ直シタ）テ同シク瓦匠ヲシ
テキルト云フ。

二十二 農村ノ交通

定縣内通過ノ平漢鐵道ハ僅ニ二八キロ（七邦里）テ他ハ總テ車馬道テ舊式
ノ馬車、駱車、小車、自轉車、驢騾馬ヲ通ハスニ過キヌ狀態テ道路ノ狀況ナ
トモ處ニヨツテハ、甚タ廣クシテ田舎特有ノ道ノ中ニ道アリト云フ有様テア
ルカ概シテ定縣ハ砂地トテ道ハ軟ク細カイ黃砂四五寸モツモリ一度馬車ナリ
馬カ通り或ハ颶風ニアヘハ黃塵万丈ノ光景ヲ呈スルモノテ、反對ニ雨ニ遭ハ
ハ泥濘深ク没シテ通行至難トナルモノテアル。
只坦々トシテツツク平路ナルカタメニ車馬ノ交通ニハ阻碍スルモノカ無イカ
自動車ヲ通スルヤウナ道ヲ修築スルニハ相當困難テアツテ定縣ノ現狀ヲ見ル
トキ誠ニ前途遠遠ノ觀カ多分ニアル。

交通機關ニツイテ見ル

荷馬車ヲ普通大車ト云ヒ牲口ニ乃至三頭テ曳クモノテ之ハ穀物ソノ他ノ荷物
及堆肥ナトヲ運フモノテ積載量一千斤程度ニシテ人ノ乗用ニモ供セラレルモ
ノテ交通運輸ノ上ニ可成リ貢獻シツツアルモノテアル。
コノ大車ハ驪車（幌馬車）ナトヨリハ遙カニ多ク且ツ一般ニ普及セラレテ居

ルモノテアル。驢馬ニヨル運輸交通ハ他地方ト同シテアル。

小車ハ即チ一輪車デアツテ近距離ノ荷物運搬ニ從フ。特記スヘキハ自轉車ノ農村ニ普及シタコト也。一日歩イテ居レハ八〇輛一〇〇輛位ニ行キ遭フ狀況テアル。自轉車ノ殆ト全部ハ日本品デアツテ天津ニテ中古品ヲ購入シテ供給スルモノテ新品ヲ用ヅルモノハ相當余裕ノアルモノテアル。中古品テ一輛洋一七元、新品ハ洋三七元位テアル。

農村ニ行キワタレル自轉車ノ數ハ實ニ驚クヘキモノテ學生、商人及中流以上ノ農民ハ必スコレヲ所有スル現狀テ山東省ニテ驢ヲ所有スルト同様一ツノ財產テモアリ且ツ最モ便利進歩ノ交通機關テアル。

割合ニ交通煩繁ニシテ人馬ノ往來多ク軟カイ黃砂道トテ砂塵蒙ルトアカリ行人ヲシテ困難ヲ感シサセルコト大テアル。

(二十三) 灌溉ノ狀況

降雨量尠クコトニ春季ハ殆ト一滴ノ降雨モ無イ華北トテ灌溉ノ要ヲ特ニ痛感スルモノニシテ河川ノ水流ヲ利用スルコト出來ヌ(平時水無シ)地方トテ

只灌溉用ノ井戸ヲヨリ多ク鑿ツヨリ外ニ良法ナキモノテアル。コト灌溉用ノ井戸不充分ナルカ爲メ穀雨ノ前後ニ降雨ナクハ小麥ハ殆ト全滅ニ歸スルモノテアル。

民國九年ノ華北五省ノ旱災ハ未曾有ノ大害ヲ蒙ツタモノテツノ旱災ノ苦イ體驗ニヨツテ民國十年華洋義賑會カ先ツ定縣ニ井戸ヲウカツコトヲ主張シ當時一井戸ヲウカツニ約洋四〇元ヲ必要ニシタノテツノ半額洋二〇元ヲ同會ニ補助シ各村長佐ノ實業局ニ報告スルノヲ俟テ義賑會ト實業局員カツノ村ニ赴イテ詳細調査ノ上此補助金ヲ交附シタモノテアル。

而シテ義賑會ニテ補助金ヲ與ヘテウカツタ井戸ニハ必ス井中ノ磚ニ、華洋義賑會捐款ノ字ヲ入シタモノテ現ニツツノ方法ヲ習得ル。ツノ後引キツツキ鑿井ヲ獎勵シ且ツツノ方法ヲ習得ル。於テ講習セシメ以テ全縣ヘノ普及ヲ計ツタモノテアル。

現在定縣ニアル井戸ハ畑ニアルモノハ直徑五ト六呎、深サ二〇呎ニシテ水深ハ八呎ト一〇呎(實測)極少深イモノテ三〇呎テアル。水質良好テ其モ飲用ニ供シタモ差シ支ヘタク僅ニ鹽氣ヲ有スル程度デアツテ石鹼モ甚ク中ウナ硬水テハナイ。土民ハ苦水(硬水)ト甜水ニ區別シテ

井戸

井戸ハ磚瓦ヲ積ム。一井戸ヲ作ルニ現在ノ費用大体左ノ通り

磚瓦 三五〇〇個ヲシテ 洋四〇元

工人 延數五〇人 洋二五元

木盤 一個 洋五元

合計 洋七〇元

村内ニ在ル飲料水用ノ井戸ハ大抵徑三呎ニシテ矢ハリ磚瓦ヲ積ミ手捲キ車ヲ汲ミアケルモノテ水質ハ同様テアル。

平教會ノ調査ニヨレハ、現在ノ井戸數ハ城内及東西南ノ三關ヲ除ク全縣ヲ合計五九二一一個ヲ第一區カ最も多ク第四區第三區ヨリニツクモノテアル。

全縣四五三ヶ村平均毎村約一三〇個余テ四五三村ノ戸數計六六二〇五戸故平均毎戸當リ〇・八九個ト云フ普及マテアル。

而シテ村外ノ井戸ハ計三九七九個、村内ノモノハ計一九四一二個トナリ井戸數ノ十個ニ滿チイ村ハ五、最も多イノハ一二二〇個ヲ有スル一村モアル位ニ現在テハ井戸ガ普及シテ幸ナルヲテアル。

井戸ニヨル灌溉可能キナツテ以來(春季ノ雨量缺乏ノ爲メ)小麥ヲツクルモノ多クナリ麥ノ收穫後ハ二次作物シテ穀子、白薯、豆等ヲ作り得ルヤウニナツタノデアル。

井戸水ヲ灌溉スル設備ヲシテハ一般ハ手捲ノ車ニ鈎瓶ヲツカテ汲ミアクルノデアルカ、近來非常ニ進歩シタ浚渫船式ノ井戸車アリ土民ハ只水車ヲ稱シテキル。

コレハ齒車ニケリ廻轉ニヨツテ恰モ浚渫船ノ様式テ巧ニ水ヲ汲ミアクルモノテ水汲ミ上ケ用ノ鐵函十吋又四吋又五吋ハ每一呎ニ一個ノ割合ニテ附ケ水面迄二〇呎ノ井戸ヲシテ約四〇―四三個ヲツケ驢ニ車ヲ廻轉セシメ順次ニ揚水スルモノテ一時間ノ揚水量ハ三〇石ニ及ワシメ設備費ヲ計算スルニ

齒車二個 洋四〇元

鐵函四〇個 洋三三元

其他 洋八元

合計 洋八〇元

故ニ定縣ニテ深サ二〇呎經五―六呎ノ井戸ヲウカチ右ノ水車ヲ設備スレハ最

少洋一五〇元一七〇元ヲ必要トスルモノテアル。而シテコノ井戸ニテ約二〇一三〇畝ヲ灌溉出來ル狀況テアル。

李親顧ニ行ク途中一部ハ地中ヨリノ湧水多ク溝渠ヲウカテハ直チニ河流ヲナス位ニ水利ノヨイ地方トテココテハ井戸ヲ掘ラスニコノ溝渠ノ水ヲ「ハネ鉤瓶」式ニテ汲ミ上ケ或ハ足踏ミノ龍骨車ニテ汲ミアケテ灌溉ヲシテキル。但シ斯様ナ灌溉ノ方法ハ定縣ニ於テハ他ノ地方テハ到底見ルコトノ出來ナイモノテアル。

二十四 治安ノ狀況

管内ノ治安ハ公安局ト保衛團ニヨツテ保タレ匪賊ノ横行ナク安全テアル。公安局ノ巡警ハ合計一八〇余名、保衛團ハ二〇〇余名（但シ彼ラハ六〇〇名ト稱シテキルカ事實テハナイ）テアツテ公安局ハ清風店、東亭、李親顧、高蓬鏡、明月店、趙村ニ分局ヲ置キ一局ニ七八人ヲトメ舊式銃七八挺ヲ備エテキル。

保衛團ハ同シク舊式ノ銃ヲモツ、彼ラハ自轉車ニテヨク所屬管内ヲマワリ治安ノ維持ニツトメテキル。

巡警ノ薪水洋六元ニテ一月ノ食代ハ洋三元ニ云フ慘然ル生活ヲシテ居ルニモ不拘現在二ヶ月分ノ薪水不渡リトナツテ居ルニ云フ有様テアル。

保衛團モ恐ラク經費不如意ノ爲メニ斯様ナ狀態ニアルモノト想像スルニ困難テハナイ。

只翟城タカハ共同保衛法ノ實施ニヨツテ立派ニ治安ヲ保ツテキルカ全縣ニ此法カ行ハルルニハ尙ホ却々間カアルコトト思フ。

治安狀態ハ極ク宜シイ狀況ニアルガ静カニ思ヒラコレヲ治安維持ニアタル彼ラノ低イ生活狀態、給料ノ不渡リ等ニ随ラスルニキニハ誠ニ不安ノモノカアリ果シテ彼ラカヨク治安維持ノ大任ヲ果シ得ルカヲ疑問ニ思ハセラルル次第テアル。

二十五 農村ニ於ケル銀行ノ活躍狀況

農村ノ疲弊シテ破産狀態ニアルコトハ既ニ新聞紙上等ニヨツテ承知ノ處デアルカ果シテトノ程度ノモノデアルカハ鳥渡想像モ出來ナイ處デアル。

農村破産ノ理由ハ多クアリ即チ連年ニ亘ル内亂、天災及苛斂誅求等ト全ク枚舉ニ遑ナイ狀況デアル。

コノ様ナ狀況下ニ於テ現金ハ皆都市ニ集中シテ田舎ハ益々金融逼迫トナリ
老百姓ニハ殆ト購買能力ヲ爲メニ都市ニ集中シテ遊資ノ向ケ先ナク農村
ハ金ナクシテ苦シマ都市ハ現金ノ集中ニ由ツテ困難スルト云フ状態ヲ現出
シタモノテコレカ爲メニ銀行業者モツノ遊資ノ捌ケ口ニ窮シテ結果漸ク商
工業ノ不振ヲ覺リ農村ノ破産ヲ以テ其最大原因トナシ乃チ農村ニ投資シテ
一面ハ農村ノ凋弊ヲ救済シテ農村ノ購買力ノ恢復ヲ計リ一面ハ都市ニ集ル
遊資金ノ調節ヲ計ルコトトナツタ。

即チ農村投資ニ意ヲ注キ農民銀行ノ設立、合作社ニ對スル信用貸出シ、農
産倉庫ヲ設ケテ農産貸出シ或ハ灌溉用井戸ノ資金貸出シ等々ト可成リ活
躍ヲツツケテ居ル模様デアル。但シ實地ニ農村ニ入ツテ見ルニ新聞紙上ニ
表ハレル宣傳程ニハ染手シテ居ラス極ク初步ノ程度デアツテ一銀行カ一縣
ニ五六萬元位ノ貸付ヲシテキル程度ノモノデアル。
農村ニ於ケル銀行ノ活躍狀況ヲ見ルニ
(イ)貸出シノ手ツツキ方法、期限及利率。

定縣テハ縣城及清風店、東亭ニ中國銀行ノ農産倉庫カアリ、翟城ト鷄鳴台

ニ副倉庫カアリ、縣城及明月店、李親唐ニハ金城銀行ノ農産倉庫カアリ、趙
村ト北宮城ニ副倉庫ヲ設ケテキル。

中國銀行ハ石家莊中國銀行ノ監理下ニアリ、兩銀行トモ利子、貸出シ條件ナ
ト凡テ協定一致ノモノデアルカラ左ニソノ章程ノ中ヨリ必要ナモノヲ抄
録スル。

農産倉庫章程

- (一) 農産品ヲ抵押トシテノ貸出ハ洋五〇元ヲ以テ標準單位トスル。
- (一) 抵押ノ農産品ハ定縣城市價ノ七割計算ヲ以テソノ貸出額トスル。
- (一) 利子ハ自助社及合作社々員ノ農産押出ノ率ハ月息八厘五毛ニシテ倉庫料、
保險料ヲモ含ムモノデアル。社員テナイモノノ農産押出ハ月利九厘ニシテ
倉庫及保險料ハ別計算デアル。

註。非社員ノ利子ハ一分二厘位トナル。

- (一) 保存及押出ノ期限ハ六ヶ月ヲ以テ滿期トスル。

註。保存(保管)運銷、貸出シ業務ヲモナスモノデアル。

信用貸出シハ銀行ヨリ直接老百姓ニ貸サスニ合作社ニ貸シツテ合作社ヨリ

其社員ニ貸付クルコトニナツテキル。ソノ場合地方ノ合作社テハ定縣城ノ合作社聯合會及平教會ニツノ旨申出テソノ承諾ヲ得ル必要カアリ、承諾ヲ得タル後ハシメテ銀行ヨリ借リルコトカ出來ルノテアル。

銀行ハ農村ニ投資スルニアタリ、直接老百姓ニ對サスニ必ス合作社及教育機關ト聯絡ヲトツテ居ルモノテ金城銀行ハ定縣テ老百姓ニ貸付クルニ當リ教育機關（平教會）及合作社ト互ニ聯絡ヲトツテ居リツノ結果ハ却テ見ルヘキモノカアルノテアル。

ソノ利率月息八厘ニシテ合作社ヨリ社員ニ貸シ出ス月息ハ一分テアル。合作社對社員ノ貸借ハ擔保ヲ必要トスルノテアル。

從來最低月利二分以上ヲ支拂ツテキタ老百姓トシテハ、ソノ半額ノ利子テ借リ得ルモノデアアルカラソノ受クル利益ハ誠ニ大デアルト云フヘキテアル。

李親殿金城銀行ノ倉庫ニツイテ調ヘタ處ニヨレハ昨廿三年ノ收麥後ヨリ年末迄ヲ期限トシテ貸シツケタモノハ合計二〇七戸テ

洋一〇元	五〇元迄	七九戸	三八%
洋五〇元	一〇〇元迄	五六戸	二七%

洋一〇〇元 — 二〇〇元迄 七二戸 三五%

農産抵押貸款ハ洋五〇元ヲ以テ單位トスルト云フカ洋一〇元ヨリ五〇元迄ノ貸付三八%アル所ヲ見レハ變通辦法ヲ以テ下級層ノ老百姓ニモ貸シツケツアル事情ヲ知ルコトカ出來ル。

但シ下層老百姓ニモ貸シツケルトハ云ツテモ必ス擔保ヲ必要トスルモノ故ツノ擔保ヲモツテキナイモノハ、コノ低利ノ恩惠ニモ浴スルコトカ出來ヌモノテアル。假令洋一〇元ヲ借リルトシテモ洋一四元三〇仙ニ該當スル擔保ヲ必要トスル狀況トテソレ丈ノ余裕ノナイモノハ結局借リ得サルモノテアル。

依之觀之、銀行ノ農村ニ活躍スルノモ中農以上ノ所謂多少ナリ余裕ヲ持ツテキルモノハカリカソノ潤ヒヲ受クルモノニシテ、最モ數多クシテ最モ窮シテキル雇農、佃農、貧農階級ハ何ラノ恩惠ヲモ受ケナイモノテアル。何トナレハ、彼ラハ食フコトニオハレテ居ル爲ニ收穫ヲ得レハ、直チニソレヲ食フコトニナツテ居リ、中ニハ收穫前ニソノ收穫ヲ抵當トシテカリテ居ルモノスラアル狀況トテ倉庫ニ入レテツノ七割ヲカリルト云フヤウナコトハ到底不能ノ實情デアル。

但シ農村ニ銀行ヲ注意シテ多少ナリ低利ヲ金融シテキルコトハ無キニマサル

コト數等テアツテヨノ銀行ノ農村進出ニヨツテ高利貸ノ搾取カ可成リ緩和セラルルヤウニナリシト云フヲ見テモ裨益スル處アリト云フヘキテアル。

更ニ中國、金城兩銀行ノ狀況ヲ見ルコトニスル。
(一)清風店ニ於ケル中國銀行ノ農產倉庫ニ就テ。

民國廿二年七月ノ創業テ此倉庫ハ三間房ノモノ五棟、二間房四棟ニシテ倉庫トシテノ設備ニツイテハ之ト云フヘキモノナク且ツ又保管ノ方法ニモ何ラ特異トスル處カ無イ。只乾燥ノ北支トテ新様ナ普通家屋ヲソノヘマ倉庫トシテ穀物、棉花等ヲ倉入レシテモ少シモ差支ヘナイモノテアル。
現在倉入レ中ノ貨物ハ棉花、黑豆、小麥、棉實、菸葉、穀子ニシテ五棟ノ倉庫ハ一杯テ尙ホ院子ニ野積ミニシテ、アンベラテ覆ツテキルモノ多クアリ棉花ハ約百擔アルト云フ。

棉花及糧食貸款百余戸ニ及ヒソノ額ハ洋二万五、六千五百元正ニ達スルトノ事經理李先生ト云フ三十年配ノ人ハ早口ニ説明シテクレタ。

老百姓ニ對シテハ全部現洋テ貸シツクルモノテ紙幣ハ用ヒテ居ラヌ。
(二)東亭ニ於ケル中國銀行ノ農產倉庫ノ狀況

廿二年七月ノ創業テ五間房三棟、二間房三棟ツノ外ニ二ノ用意アリ
落花生ハ院子ニアンベラテ圍フ。設備ハ清風店ト同シ。 現在倉入レ中ノ主ナモノハ棉花ト落花生、小麥テ次ハ芝麻ト花生油テアル。

棉花	二〇〇〇〇斤
落花生	七〇〇〇〇斤
小麥	一〇〇〇〇斤

花生油及芝麻若干

(三)明月店ノ金城銀行ノ農產倉庫

民國廿三年秋ノ創業ニシテ李親顧同行ノ管轄下ニ在リ三間房及五間房ノ倉庫六棟アリ。小麥ヲ以テ主トシ穀子、黑豆ヲツノ次トスル
現在ノ貸付洋一万五千元程廢テアル。

(四)李親顧ニ於ケル金城銀行ノ農產倉庫

廿二年秋ノ創業ニシテ倉庫九棟ヲ有シテキルカ現在倉入レノモノハ小麥ト穀子トテ極ク僅カテアル。中國金城銀行ノ各地ノ倉庫中最モ少テアル。成績如何トキイテ處今ノ處少シク收支償ハサル位トノ返答テアツタカ事實テハナ

イラシイ。

(五) 縣城ニ於ケル中國金城兩銀行ノ業務

中國銀行ハ石家莊同行ノ管轄下ニ在リ倉庫ノミヲオキ職員二人ノミ定縣内ノ二倉庫及二副倉庫ヲ監督スル。

金城銀行ハ昨秋創業シタルモノデアル。城ノ中央北門大街ニ面シ中國銀行倉庫ト背中合セヲナス。倉庫業ノミナラス儲蓄部ヲモ設ケ(明月店、李親願ノ二行モ同様)一般ノ預金ニモ應ジテ居リ尙ホ華北農産研究改進社トシテノ業務ヲモ行ウテキル。

右ハ南開大學ト定縣平教會ト金城銀行トノ共同組織ニシテ研究ト實施ノ兩部アリ、主トシテ棉花ノ改良ニアリ研究ノ方ハソノ改良ニアタリ、實施ハ金融ノ調和ヲ計ルモノデアル。

儲蓄部ハ却々良好ナ成績ヲ擧ケ中農以上ノ今日迄ノ埋藏金ノ預金ヲ引キウケツノ額ハ恐ラク貸出シ額ヨリモハルカニ多イコトト思ハレル。

此外ニ中國銀行カ辛莊方面ニ農場ヲ經營シテ老百姓ヲ領導セントシテ計畫ヲシテキルナトハ金城銀行ノ華北農産研究改進社ノ一員タルト同シク農村ノ現

狀ヲ打破シテツノ向上ヲ計ラントスル企圖トシテ注意スヘキモノト思フ。

灌溉用ノ井戸ヲ掘ルコトニ對シテモ深イモノモ洋五〇元、淺イモノモ洋三五元(費用ノ半額)ヲ貸付ケントシテキルコトハ日イ傾向デアル。但シ井戸ヲウカツ數ナトハ誠ニ寥々タルモノテ一村ニ五ヶ位ツレモ總ノ西南地方ノ數々村ニ過キヌ貧弱ヤデアル。償還期限五ヶ年月利合作社員七厘非社員一分二厘銀行ノ農村ニ進出以來一般民ノ銀行ニ對スル信用加ハリツレカタメ今日迄田舎ニテハ銀行ノ紙幣ノ流通ナトハ思ヒモヨラス凡テ大洋或ハ銅子兒、制錢ヲ以テシテキタモノカ今日テハ到ル處ニ紙幣ノ流通ヲ見ルト云フ狀況トナリ銀行ノ田舎ニ於ケル信用ハ非常ニ厚クナツテ來タ。

從來中國ノ農村ハ一年農作トナシハ參年間ハ十分食マコトカ出來ルト云ハシテキタモノテ、ソノ豐作ノ年ニハ收穫全部ヲ現洋ニカエテ之ヲ地下ニ埋藏シテソノ確保ニツトメタモノデアル、故ニ豐稔ノ年ニハ市場ノ現洋ハ却ツテ減少シ現洋ト紙幣トノ差ハ百元ニツキ洋二〇元ニモナルト云ハレテキル。處カ中國、金城銀行ノ農村進出ニ因ツテ信用ヲ得テ以來コレヲ埋藏銀ト預金スルモノ多ク今日テハ貸出額ヨリモ預金引受額ノ方カハルカ多イト云フ狀況テコノ點ヨリ見テモ中農以上ニハマダ余裕アルモノト思考ヲスル。銀行

ノ預金利子ハ四厘テアル。

農村疲弊ヲ救出スル意味テ農村ニ進出シタ銀行モ貧農階級ニハ全ク無關心ノ状態ニアルモノテ、コノ點ヨリ見テ銀行ノ農村進出ハ高利貸ノヤウナ搾取ハセヌカ兎ニ角一種ノ搾取ヲナシツツアルモノト云フコトカ出來ルノテアル銀行以外ニ縣商會、錢舖等テ發行シテキル小票（角票）洋十仙、二十仙ノ二種ハ財政廳令ニヨリ通用ヲ禁セラレテキル。

定縣モ商會發行ニカカル小票ハ去ル二月末迄ヲ期限トシテソノ通用ヲ禁シ兌換セシメ兌換未了ノモノハ、更ニ三月五日迄延期シソレテモ兌換セヌモノハ無效トスルコトニシツレ以來市面ニソノ影ヲ没シテキル。

行唐縣商會ノモノハ時折認メタカ一般ハソノ通用ヲ拒シテキタ。中央、中國、大中、農工、交通、河北省銀行等ノ十仙、二十仙ノ小票ハ各地トモヨク通用シテキル。銅子兒相場洋一元カ五串二百文テアル。

二十六 平民教育促進會ノ概況

平民教育促進會ヲ略シテ平教會ト云フ。

吾ノ平教會ハ少數有志ノ組織スル處ノ私人ノ學術研究團テアツテ現在ノ工作

ハ主トシテ

農村ヲ如何ニ改革シ如何ニツクルカ。

國家建設ノ内容ト方法及民族復興ノ基本條件ヲイカニスルカ。

ト云フコトニ研究ヲ集中シテキルノテアル。

然ルニ來定參觀ノ人々ハ、道路、工廠、電灯、洋館、公園、博物館、圖書館等所謂一般的ノ建設ヲ參觀スルツモリテ來ルノテ皆失望シテカエルカソレラ一般的ノ所謂建設ハ政府及全國人士ノ負フヘキ責任テアツテ平教會ニハ地方ノソレラ物質的建設ヲナス力ハモトヨリナイノテアルシ又平教會同人ノ考ヘモツコニアルノテハナイ。ト平教會參觀ノ折案内シテクレタ先生ハ先ツコウ説明シテクレタ。

平教會ハ民國十三年ニ設ケラレ定縣ニソノ總會カ遷ツタノハ民國十六年テ

アツテ定縣ヲ如何ナル理由テ平教運動ノ實驗區トシタカト云フニ

(一) 調査ノ結果ニヨツテ定縣ハ農民生活、鄉村組織及農業ノ状態ナトスハテ

華北ノ各縣ハモトヨリ全國各縣ノ代表タル素質ヲツナヘテキルコト。

(一) 以前ニ華北テ文字教育及平民學校ノ普及ニツトメタ處定縣ノ各村ハ比較的成績ヲアケテキル。

(一) 定縣ハ大都市カラ比較的ハナレテキルノテ人民ノ生活ハ未タ都市ノ影響ヲウケテキナイ。シカモ平漢鐵道カアルノテ交通ハ便利デアル。

(一) 定縣ノ公共機關、人民團體及ヒ地方ノ士紳ハ平教運動ニ對シテ十分ニ瞭解ヲモツテキテ援助ヲオシマナイノテ三、四年ノ準備時代ヲ經テ定縣ヲ平民教育、農民教育ノ實驗區トシタノテアル。

而シテ平教會ノ目サス處ノ第一ハ即チ四大教育デアル。

李景漢。張世文氏ヲノ説明スル處ニヨレハ支那人ニハ、愚、窮、弱、及私ト云フ四ツノ基本的缺點カアル。

- (一) 知識ノ缺乏ハカリテナク普通ノ常識サヘモモタヌ又文字ヲ知ラスシテトウシテ知識ヲ得ルコトカ出來ルカ。
- (一) 生計トイフ點ヨリ見テモ生産低落シ經濟困難トナリソノ生活ハ全ク生存ノ水平線下ニアリ生産ヲ増加シ經濟組織ヲ改善サセル知ト能トヲ有シテキナイ。
- (一) 身体虛弱ニシテ公共衛生ニ對スル方法カナイ。
- (一) 私心ノミヲ有シ團結心カナク且ツ道德心ノ缺乏、公民ノ訓練ノ缺乏ヲ以テシテトウシテ自立自強トナルコトカ出來ルカ。

乃チ文盲ヲ除キ新國民ヲ作ルト云フ「スロイガン」ノ下ニ四大教育ノ必要ヲ主張スルト云フノテアル。ソノ方法ハ

文藝教育ヲ以テ愚ヲ救ヒ、生計教育ヲ以テ窮ヲ救ヒ、衛生教育ヲ以テ虛弱ヲ救ヒ而シテ公民教育ヲ以テ私心ヲ救フノテアル。

生計教育ノ附帶事業トシテハ城内ノ農園及城東高頭村ニ農場ヲ設ケ城内ハ主トシテ果樹ノ改良及波支猪ト定縣在來種トノ改良ニアタリ高頭村ノ農場テハ棉花、穀子ノ改良研究ニアタリソノ結果ヲ老百姓ニ發表領導ヲ行ツテキル。

衛生教育ノ普及ハ主トシテ保健院ニテ訓練シタ先生達ヲ各村ノ保健所ニ配置シテソノ徹底ニアタラセテ居リ出生死亡ノ通知ハモトヨリノ專入浴ノ獎勵種痘ノ無料勵行ナトヲ實行シテキル。ソシテソノ目サス處ハ豫防ト治療及出生、死亡等ノ調査ノ訓練等ニアルノテアル。

高頭村ヨリ東亭ニ向フ途中北角羊ノ入口テ五四人ノ兒童ヲ引率スル平教會ノ若イ二人ノ指導員ト邂逅シタ。城内見學ニ赴クモノナリヤ問合セタ處、田舎ニハ御承知ノ通り澡塘ノ設ケカナイノテ城内ニ行ツテ入浴セシメルモノテ毎日曜日ニ皆ヲツレテ行クノタトノ町噂ヲ挨拶ヲウケタコトカアル(三月三十一日)

古來入浴ノ風習カアリ毎日乃至ハ二三日はハ必ス入浴スル日本人ニハコノコトハ鳥渡想像出來ナイカ一年ニ一度モ入浴シナイモノ殆ト大部分テアルト云フ田舎ニ在ツテツノ子弟ヲ一週間毎ニ一五支里モアル城内迄ツレテ行ツテ入浴セセルトイフコトハ實ニ異例ニ屬スル。

兒童ヲハ遠足ニテモ行クカ如ク喜々トシテシカモ無駄話モセス一列ニ整然ト並ンテ進ミ行キコノ規律ノアルコトハ兵ナトトハ同日ニシテ語ルコトハ出來ナイ位テアル。コレラノ實例ハ即チ衛生教育ノアラハシテアル。

平教會ハ幹事長晏陽初氏(四川人米國エール大學ノ學位ヲ有シ米國婦人ヲ妻リテ五人ノ子女カアル)カ牛耳ツテ居リソノ下ニ李景漢氏外ノ主トシテ米國留學出身ヲ以テカガメテキル。

只形式的ニナカレテキルトノ批評ヲナスモノカアルカ彼氏ラハ極ク眞摯ナ態度ヲ研究ヲツツケソノ訓練シタ處ノ青年ヲ指揮シテ各村ニ入ラセテ實地ニ活躍カセテキル。彼ラハ皆自轉車ヲ馳ツテ旺ンニ村カラ本部ヘ本部カラ村ヘト活動シテキル。タカチ籍ズニ年月サヘ以テスレハ大イニ見ルヘキ成績カアケラルルコトト思フ。

平教會ノ經費ヲ如何ニシテキルカニ問フタ處ハシメハ中美教育文化基金會ヨリ多年補助カアリテツレニ充當シ又各種ノ出版印稅收入モ大キナ維持費ノ一項テアル。

民國十四年太平洋會議ニ出席シタ晏氏ハ各地ヲ講演シテ歩キソノ説ニ感激シ

タ在米華僑ハ三日間ニ二万米弗ノ贖金ヲシテ平教會ニ贈ツタ。民國十七年ニ再ヒ渡米シタ晏氏ノ講演ニ學術團體ノ合作委員會ヨリ五年間ヲ限ルト云フ條件ツキノ補助金ヲ得ルナト相當海外コトニ米國カラノ援助ヲウケテキルノテアル。

但シ五年間ノ援助ノ期限ハ既ニキレテキルノテ今後如何ナル方面ニコノ經費ヲモトメテ行クカハ誠ニ興味アル問題テアツテ恐ラク以前通り米國方面ノ華僑及ソノ他ヨリソノ捐出ヲ仰クコトトナルテアラウト思考セララル。現在一

年ノ經費ハ大約洋三万六千元テアル。

目下晏氏ハ北平ニ赴キ或ハ湖北、湖南ニ行クト云フ有様ニ東奔西走シテ平教

會運動ノ講演ニ出テテ寧日ナイ狀況テアル。

定縣ハ平教會ノ存在ニヨツチ一ツノ靈場ノヤウニ喧傳セラレ一度コノ地ヲ見ナクテハ農村ヲ語ルコトハ出來ヌモノト信シテキルカノヤウニ各地カラ參

觀園カ毎日相營押シヨセテ來テキルカソレヲ一行ノ輕卒ナ態度服裝ナトカラ見テアレテ疲弊ノ極ニ在ル老百姓ヲ救ヒ農村更生ヲ計ルコトカ出來ルカト疑ヘセラルルノデアル。

幹事長晏氏ノ外ハ皆定縣ニ籠テ研究及領導老百姓ノ方法ヲ考ヘテキルノデアル。コノ狀況ヲ見テコノ會カ一層老百姓コトニ下級農民トノ接觸ヲ深メテ行ク日ノ近カラソコトヲ希望スルノデアル。

二十七 農村合作社ニツイテ

農村合作トハ平和ナ方法テ經濟上ノ相互ノ利益ヲ實現シ併セテ被壓迫階級ノ相互聯絡ヲ計ルノヲ目的トシ、ソノ目的ヲ實行スル處ノ法定團體デアル。

農村合作ノ内容ヲミルニ

- (イ) 農村合作ハ經濟ヲ以テ中心トシ農村社會ヲ改進スル。
 - (ロ) 農村合作社ハ人ノ結合テアツテ資本ノ結合テハナイ。
 - (ハ) 農村合作社ハ互助及自由平等ノ社團法人デアル。
- ト云フモノテ合作社ノ種類及ソノ目的ニツイテキルト

- (イ) 信用合作社ハ貸付ト儲蓄ヲナシ地方ノ金融中心トナル。
- (ロ) 購買合作社ハ共同購買ヲ實行シテソノ費用ノ輕減ヲ計ル。
- (ハ) 運銷合作社ハ社員ノ生産品ノ共同賣買ヲナシテ中間ノ搾取ヲ除ク。
- (ニ) 利用合作社ハ社員ノ必需品ヲ供給スル設備ヲナシ農民ノ費用ヲ節減スルモノトニツトム。

ト云フモノテ疲弊ノ極ニ在ル農村ヲ救済スルニハ最も適合シタ處ノ一種ノ經濟制度デアル。

昔ヨリ農村ノ疲弊ヲ救フニハ農村資金ノ供給ヲ必要トスルノデアルカト從來農民ハ金融界ト直接關係ヲモツコトナク從ツテ投資ヲ仰クコトハ殆ト絶無ノ狀態デアツタノデアル。故ニ合作社ノ使命トイフモノハ第一ニ農民ト金融界トノ仲介ヲナシテ農村資金ノ潤澤ヲ謀ル必要カアルノデアル。

銀行ハ農村ニ投資スルニモ直接農民ト關係セズニ必ス仲間ニ教育機關ソノ他ノ機關ヲ通シテキルモノテ近來農民銀行ヤ商業銀行カ各省ノ農村ニ進出スルニアツテモスヘテ合作社ノ手ヲ經テキルノデアツテ此點合作社ハ農村ニ可成リ大ナル貢獻ヲシテキルノデアル。

コノ合作運動ノ中國ニ興リハシメタノハ民國八年ノ五四運動ノ直後デア

ツテ河北省ニシテ設立ヲ宣傳セラレタノハ民國十二年テアツテ北平ノ中國華洋義賑會カハシメテ合作組織ニヨツテ中小農民ヲ救済セントシテ先ツ信用合作社ヨリ着手シ更ニ河北省ヲ試験區ト指定シタコトニヨルノテアル。十二年四月農村合作社空白章程ヲ改訂シ八月合作委辦會ヲ組織シ王樹德ヲ聘シテ該會ノ合作指導員トナシ定款ヲ考究シテ合作社ノ運動ニツトマサセ十四年ヨリハ短期合作講習會ヲヒラキ且ツ合作社ニ低利ノ貸付ケヲハシメタノテアル。

定縣ニ於ケル合作社モ斯様ナ路ヲ辿ツテ來テキルノテアルカ現在定縣ノ各合作社及自助社ニテ行ツテキル事業ヨリ見ルニ只信用合作社及購買合作社タケテアツテ未タ運銷及生產合作社ハ見ラレナイ。

各村ノ購買合作社ハ日用品トシテ左記ノ品ヲ社員ニ賣ツテキルカツノ位段ハ特ニ安イトモ思ハレヌ程テアル。

- 食鹽 一斤 五二〇文(十 仙)
- 鹹 一斤 四八〇文(九仙二厘)
- 洋油 一斤 八〇〇文(十五仙四厘)

箸子 一把 一六〇文(三 仙)

清水河村ノ合作社ヲ見學シタトキ若イ社員三人ハ心ヨク迎エテ業務ニツイテ説明シテクシタ。

即チコノ地ノ合作社ハ創立漸ク二年加入社員三十六人未タ微々トシテ振ハス事業トシテハ何モ無ク只共同購買トシテ前記ノ品ヲ社員ニ頒ツテキルノミテ冗費ノ節約ヲトキ儲蓄ヲススメテキルノカ現在ノ仕事テアルト云フ。

合作社トシテ銀行ヨリ農村救済ノ低利資金ヲ仰イテ居ルカト質シタ處、金城銀行ヨリ約洋一阡元ノ貸付ケヲ得タト云フ。

右ハ縣城ノ合作社聯合會ト平教會トノ許可保證ノモトニ於ケル信用借款テ利子ハ月八厘テアルカ社員ニハ一分ニ貸シ作物ノ收穫トキニ償還スルモノテアリ肥料代トシテノ名目テ一畝ニツキ洋一元五十仙ヨリ洋二元テアルト云フ。

合作社ハ各村ニ設ケラレ、合作社トナル前ノ自助社ナトモ各地ニアルカ一般老百姓ニハ未タ合作社ノ意義目的カ諒解セシテキナイノテコレヲ

カ農村ノ中心トナツテ大イニ活躍スルニ至ルニハ尙ホ相當ノ年月ヲ要スルコトト思ヘレル。

以上述ヘタ平民教育促進會ト中國華洋義賑會ニツイテ其向フ處ヲ見ルニ平教會ノ晏陽初氏ヲノ目サス處ハ平民教育ノ促進ニヨツテ破産ノ農村ヲ救ヒ、義賑會ノ章元善氏ヲハ合作運動ニヨツテ農村ヲ救フトイフモノテ其手段方法ハ異ルカ。農村ヲ救済スルト云フ究竟ノ問題ニ於テハ一致スルノテアツテ、此點ニ於テ兩者ハ互ニ聯絡提携ヲシテキルノデアル。

(二八) 結語

平年作ニ於ケル白薯及五穀ノ收穫ト余剩耕地ノ利用

定縣ニ於ケル農産ノ中豆類、野菜類等ヲ除キ老百姓ノ主食物テアル處ノ白薯及穀子外ニツイテノ收穫ノ程度ヲ見ルニソノ豊凶ハ全然問題外トシテ、ソノ平年作ヲ考アル必要カアルノテ例年ノ作付段別ヲ斟酌シテソノ收量ヲ見ルト

品目	作付畝數	一畝ノ收量	全收量
白薯	一四二、三〇〇畝	二、〇〇〇斤	二八四、六〇〇、〇〇〇斤

穀子 (二次作)	穀子 (二次作)	斗	斤
穀子 (二次作)	二四七、〇〇〇畝	八斗	一、九七六、〇〇〇斗
小麥	三四〇、八〇〇畝	六斗五	二、二一五、二〇〇斗
高粱	八八九、〇〇畝	九斗	八〇〇、一〇〇斗
大麥	八五〇、〇〇畝	七斗	五九五、〇〇〇斗
玉米 (第一次作)	二九四、〇〇畝	七斗	二〇五、七〇〇斗
玉米 (第二次作)	九二〇、〇〇畝	四斗	三六八、〇〇斗
蕎麥	七六四、〇〇畝	六斗	四五八、四〇〇斗
合計	二、二六二、〇〇畝		二八四、六〇〇、〇〇〇斤
			六八二、三二〇斗

定縣ノ戸數六八、四七四戸一戸當リ五八人トシテ三九七一四九人トナリ成年男子ニ等シイ數ヲ算出スレハ一戸當リ四六トシテ三一五、〇〇〇人トナル。

コノ中約二五%ヲ比較的余裕アル階級トシテ穀子、小麥ソノ他ヲ十分ニ食ヒ得ルモノトシ一人一年三〇斗トミレハ

七八七五人 一人平均三〇斗トシテ 二三六五斗トナル。

而シテ他ノ三〇七一二五人ハ白薯ヲ主食トシテ穀物ヲソノ二分一トル階級ト見テ一年二一四斗トル處ヲ特ニ一六斗平均トシテソノ消費ハ

四九一四〇〇斗ニシテコノ合計ハ四九三七六二五斗トナリ尙ホ一八八五五七五斗ノ余裕ヲ生シ得ルノテアル。

コノ剰余穀物ヨリ見テ平年作ノトキニハ、ソレタケノ耕地ヲ他ノ棉作ナトニ融通スルコトカ出來ルモノトシテ考ヘ得ラルルモノテ萬一ノ場合ヲ慮リソノ三割ヲ穀物ニワリ當テ七割ヲ棉作ニ轉スルトシテモソノ耕作地ハ約一八〇、〇〇〇畝トナルモノテアル。

定縣現在ノ棉作付畝數ハ漸ク七五、〇〇〇畝テ平年作ニハ一畝七〇斤トシテ五二五〇、〇〇〇斤テアルカ尙速ノ食糧ノ點ヨリ見テ穀物作付ノ一部ヲ棉作ニ轉スルコトノ出來ル畝數ハ最少現在ノ二倍増加トナリ約二二萬畝トナルモノテ棉作收入ノ方カ一畝ニツキ洋一元乃至一元七〇仙ノ多收トナルモノテアル。

尙白薯ニ於テモ約二萬畝ノ余裕ヲ得ルノテアルカ、大体白薯ハ可成リ不毛ノ地デモ作付々出來ルモノ故ソノ地ヲ直チニ棉作ニ轉スルコトハ困難ト思ハレルノテコノ方ハソノママトスヘキテアル。

以上定縣ノ農村ニツイテ述ヘテ來タカ更ニ彼等老百姓ニ思ヒツキノ點ヲ傳ヘルコトトスル。

(一) 深耕法ヲ行ワコトテ、コレハ殊ニ秋收穫後八寸乃至一呎ヲ鋤キオコスコトテアル。河北ニ於テ嚴冬ニハ地下二呎一三呎迄モ凍ルモノ故收穫後ニ一呎迄鋤キオコシテオクトキハ霜及凍ルコトニヨツテヨク耕地ノ新陳代謝ヲナシ現狀ノヤウニ只三四寸ノ土地ヲノミ酷使スルヨリハ幾層倍カノ效果アル筈テソレニ小麥棉花或ハ穀子、高粱ノ別ナク農作物ノ旱災ヲ受タルコトヲ非常ニ免レ得ルコトト思考スル。何トナレハ畑ヲ一呎オコセハ非常ニ潤ヒノアル處ヨリ見テ、一呎ノ深サニ根ヲオコシ得レハ旱災ナトハオソルル處無シト思ハル。

(二) 畑地ヲ洗ツテアルカリ分ヲ流スコト。
黃河流域一帶ハコノアルカリ分ヲ含ム土地殆ト全部ニテ只ソノ含ム濃度ニ別アルノミテアル。コノアルカリ土地(鹹地)ノ處理法ハ只洗ツテコノ含有ア

ルカリヲ流スヨリ外ナキコトト思フ。

(一) 井戸水ノ灌溉ノ折現在ノヤウニ直接畑ニ灌カスニ用水池ヲ掘リ井戸水ヲ溜メテオクコトヲ必要トスル。斯クスレハ冷水ヲ温メルコトカ出來ルノテ可成リ農作物ニ好果ヲ及時スコトトナル。

(一) 灌溉ノ水量ヲ十分ニ注意スルコト。

現在定縣ニテノ灌溉ノ水量ハ非常ニ多キニ過クルヤウニ思ハルル。

アルカリ分ヲ含ム土地ノ常トシテ水量カ多ケレハ多イ丈耕地ヲ固クスル爲メニ作物ノ生長ヲ妨ケルコトトナル。故ニコノ水量ハ十分ニ注意スルコトニ努ムルコト。

(一) 農具コトニ鋤ヲ改良スルコト。

深耕法ヲ實行スルニハ是非必要テアル。

(一) 井戸ハ掘抜法ヲ採用スルコト

定縣ノ井戸ハ村外ニ在ル灌溉用ノモノハ總テ五呎、六呎、深サ二十呎ニ達スルモノテソノ費用ハ最少洋七〇元、八〇元ヲ要スルカ二十呎ニテ湧水スル狀況ヲ見ルニ鐵管ヲ打チ込メテ行ク掘抜井戸ニテ十分ニテ斯クスレハソノ費用ハ現在ノ半額乃至ハ三分ノ二ニテ足ルコトト思フ。

コノ掘抜井戸ヲ見ルコトノ出來ヌノヲ寧ロ不思議トスル。

但シ以上ハ金ト余裕トカアルコトヲ條件トシテノ案ニシテ現在ノ農村狀況テハ實現到底不可能ト云フヨリモ思料モ及ハヌ處テアルト云フ一言ニツキルノテアル。

華北一帶ハ本年降雨殆トナク旱魃甚タシクコトニ老百姓ノ待望久ウシタ數月前後ニモ終ニ降雨ナク爲メニ麥ノ大半ハ枯死シテ收穫不可能ノ狀況テアル定縣ハ井戸ノ普及ニヨツテ可成リ緩和サレテキタカ保定テハ既ニ相當枯葉ヲ認メタ。

歸來依然トシテ降雨ナク新聞ニアラハルル各地農村ノ狀況ハ均シク

入春以來雨ナク大風怒號田圃乾燥シ麥苗枯黃シテ收穫絶望、云々ト旱災ノ激烈サヲ報シテキル。定縣滯在中小麥一老斗洋九五仙テアツタモノカ今日テハ洋一元五〇仙ヨリ一元八〇仙ト云フ昂騰ワリヲ示シテキル。左ニ簡單ニ比較シテ見ルト

品目	定縣滯在中ノ値段	新聞ニ表ハレタ現在値段	騰貴額
小麥	一老斗 洋九五仙	洋 一元四五仙	五〇仙

高粱	六〇仙	九〇仙	三〇仙
玉米	五七仙	六二二仙	六二仙
芝蔴	一元二〇仙	三〇〇仙	八〇仙
穀子	八七仙	一四五仙	五八仙
黑豆	七二仙	一二二仙	五〇仙

トイフ昂騰サテアツテ五月廿五日ノ大公報ニアラハレタ南和縣(河北省南部ノ糧食値段ハ左ノ通り

穀子 一元九〇仙 小麥 一元八〇仙
 高粱 一元二〇仙 黑豆 一元三〇仙
 黄豆 一元三〇仙

テ非常ナ旱魃饑饉ノ狀況カ想像セララルル。
 自然ニ反抗シテ之ヲ征服スルコトヲ知ラヌ弱イ國民テアリ、苛斂誅求ノ下ニ疲弊シテモ尙ホ之ニ對シテ抗シ得ヌ氣慨ノ無イ國民テアル。連年ノ旱災、水災ツノ他ノ天災、人災ニ對シ爲政者ハ何等ノ策ヲモ講シテクレヌノニモ不拘

百姓一揆ヲ起シテ現在ノ惡政ヲ匡正スルトイフ手段ニモ出ル事出來ス。只總テヲ沒法子トシテ沒法子、本來ノ意義テアル。ツトメル丈ツトメテモ甲斐ナキトキニハシメテ諦メルト云フコトヲ忘レテキル彼ラ老百姓ニハ恐ラク現悲境ヲ打開スル丈ノ勇ハ無ク從テ農村及老百姓ノ境遇ハ更ニ一ツウ低下ト深刻サトヲ加エル事テアラウカ、コレ自ラ求メタ處ノ結果テアツテ、戰禍ノ中ニ積弊ノ世ヲ繰リ返ヘシテ行クヘキ運命ニアル彼等老百姓ノ前途ハ誠ニ日暮レテ途遠シ、ト云フヘキテアル。

以上ヲ以テ定縣於ケル農村經濟調査ノ報告ヲ終ハル事トスル。
 冗長ニ失シタカ多少ニテモ參考トナリ得レハ幸テアル。